

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台ビル)
(大阪) 電話(06)357-5335 〒534 大阪府都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

NEW ALLORA

コンパクト オーディオ

XM-1MD KF-77MD XM-100MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全編」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc



本機の特長

ミニディスク

MDレコーダーを標準装備 -[22]

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーもカンタンにできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能が自慢です。

スリーディー

3Dサラウンド -[69]

3次元的な音響空間を造り出すシステムです。奥行きや音場の広さなどが明らかに向上し、リスニングエリアも広がります。

便利な録音あれこれ -[50]

目的別に使える、多彩な録音機能をたくさん用意しました。

- ワンタッチエディット : キーを押すだけでCD1枚または1曲を録音
- TWIN REC機能 : CDからMDとテープへの同時録音
- BEST HITS機能 : セットした全てのCDの1曲目だけを、順にMDまたは、テープに録音
- プログラム録音 : 好きな曲を好きな順に録音

いろいろ楽しめる音質調整 -[67]

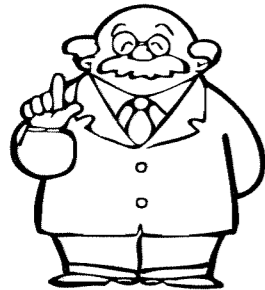
聴く音楽のジャンルによってお好みで音質を選べます。ポピュラー(POP)、ロック(ROCK)、クラシック(CLASSIC)

便利なタイマー機能 -[71]

- 2つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。
- AI タイマー : タイマーオンの後、徐々に音量が大きくなる。
 - O.T.T. (Operate easy To use Timer) : 簡単に設定できて、1回限り働くタイマー。
 - スリープタイマー : おやすみのときに便利。

自動放送局名表示機能 -[32]

都道府県名を登録しておく、FM放送を受信しているときに、表示部にその放送局名が表示されます。



デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)が用意されています。イコライザーや音場効果などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。



電源をオフ状態にし、キーを押す
押すたびに切り換わります。

- ① DEMO (実行)
- ② オフ(デモンストレーション解除)

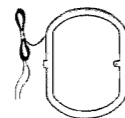
- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に働きます。デモンストレーション中にキーを押すと解除できます。

付属品

FM室内アンテナ(1本)



AMループアンテナ(1個)



AMループアンテナスタンド(1個)



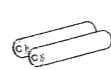
スピーカーコード(2本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用乾電池(R6/SUM-3)(2本)



目次

準備編

音を出す前に

- はじめに 2
 - 本機の特徴 2
 - ▲安全上のご注意(必ずお読みください) 4
- 接続のしかた 8
 - システムと付属品の接続 8
 - オプション(別売品)の接続 10
- 各部のなまえと働き 12
 - 本体部 12
 - 表示部 14
 - リモコン部 15
- リモコンの使いかた 16

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

- 音を出してみましょう 18
 - 基本的な使いかた 18
 - CDを聴く 20
 - CD-TEXTについて 21
 - MDを聴く 22
 - テープを聴く 26
 - 放送を聴く 30
- 録音してみましょう 34
 - MDに録音する 34
 - テープに録音する 38

応用編

楽しさが広がります

- CDを聴く 40
 - 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 40
 - 繰り返し聴く(リピート再生) 42
 - ランダム再生を楽しむ 44
- MDを聴く 45
 - 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 45
 - 繰り返し聴く(リピート再生) 47
- 便利な録音あれこれ 48
 - 録音のタイプを選ぶ 48
 - 1枚のCDをワンタッチで録音する
(ワンタッチエディット全曲録音) 50
 - いい曲があれば、その曲だけ録音する
(ワンタッチエディット1曲録音) 51
 - 1曲目だけを集めたMDを作る(CD→MD)
(BEST HITS機能) 52
 - 1曲目だけを集めたテープを作る(CD→TAPE)
(BEST HITS機能) 53
 - 1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD)
(プログラム録音) 54
 - 1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→TAPE)
(プログラム録音) 55

- MDの編集機能 57
 - 編集機能のタイプを選ぶ 57
 - ミニディスクや曲にタイトルをつける 58
 - タイトルを変更、消去する 59
 - 曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE) 60
 - 曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE) 61
 - 曲を分ける(TRACK DIVIDE) 62
 - 曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 63
 - 1曲消す(TRACK ERASE) または全曲消す(ALL ERASE) 64
- 音質と音場の調整 66
 - バランスとインプットレベルの調整 66
 - お好みの音質で音楽を聴く(イコライザー機能) 67
 - 音場効果を楽しむ 69
- 時刻合わせ 70
- タイマーを使う 71
 - オペレートイージートゥーユーズタイマー(O.T.T.) 71
 - おやすみタイマー(SLEEP) 71
 - プログラムタイマー予約 72

知識編

知っているとかかと便利です

- 知っておきましょう 75
 - メンテナンス 75
 - 参考 75
 - ディスクの取扱い方 76
 - ヘッドのお手入れ 77
 - カセットテープについてのご注意 77
- 故障と思われる症状ですが... 78
- 定格 83
- 保証とアフターサービス(必ずお読みください) 84



安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用前に、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

 **警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

●修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、おおむけ、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしなない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》

風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



風呂、シャワー室での使用禁止

異常かな?と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》

●直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

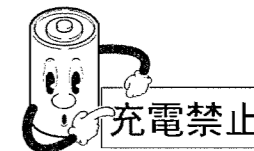
アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



接触禁止

乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



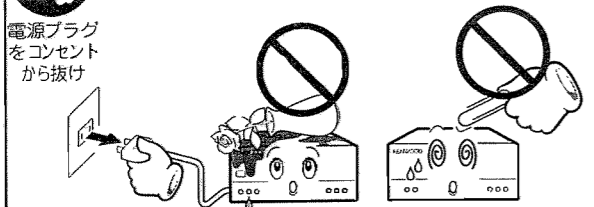
警告

安全上の注意

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

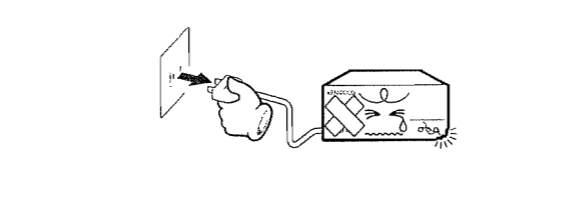
機器の内部に異物や水を入れない
 内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。
 《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



落下した機器は使わない
 落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。
 《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



ケースを絶対に開けないでください
 機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
 《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



準備編

注意

電源コードは熱器具の近くを避けて
 電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
 《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になります》

不安定な場所には置かない
 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
 《落ちたり倒れたりして、けがの原因になります》

湿気やほこりのある場所に置かない
 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
 《火災や感電の原因になります》

指定以外のコードを使わない
 関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
 《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になります》

- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

温度の高い場所には置かない
 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
 《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になります》

長期間使用しないときは
 長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になります》

注意

安全上の注意

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

音量に気をつけて
 電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。
 《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
 《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お子様にご注意
 お子様は機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
 《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
 《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
 《電池を飲み込むおそれがあります》

お手入れの際は
 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
 《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

電池の取扱い
 電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向きに注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

電源プラグの抜き差しは
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
 《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
 《コードの部分引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

機器を移動させる際は
 移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。
 《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

電源プラグは清潔に
 1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
 《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》

きれいにしましょう

指定機器以外のものを乗せない
 機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。
 《乗せた物体の落下により、けがをする原因になります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

準備編

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

システムと付属品の接続

アローラシステムと、付属品の接続方法です。図をよくご覧になり、番号通りの手順で、正しく接続してください。

AMループアンテナ

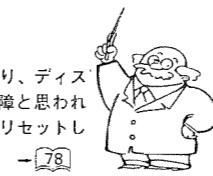
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

⚠ 注意 接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のように行ってください。

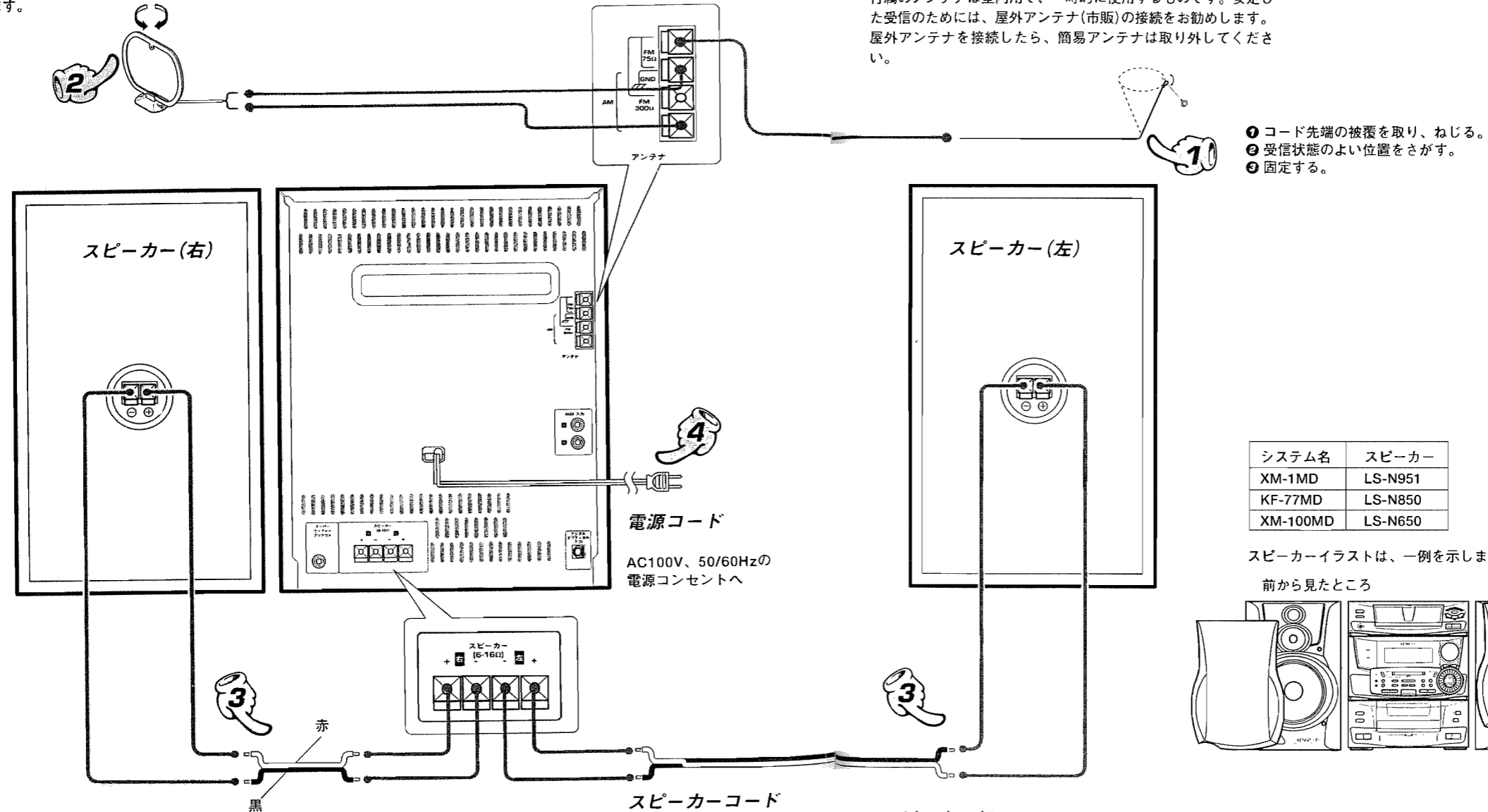
マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。



FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

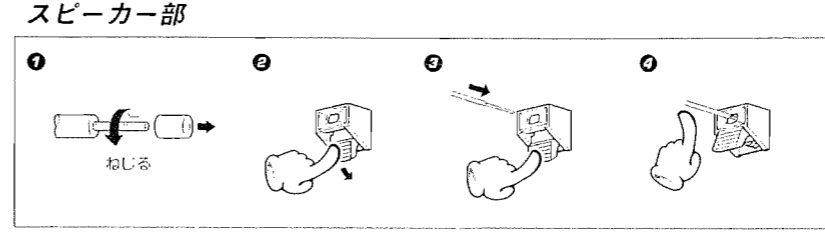
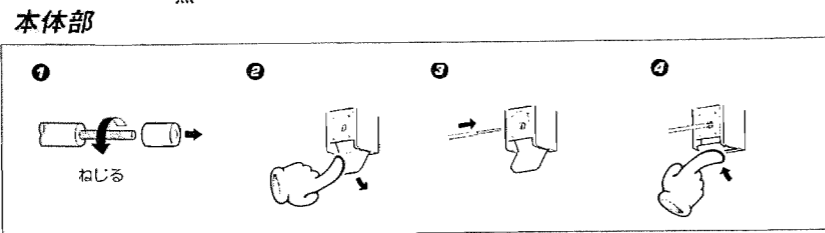
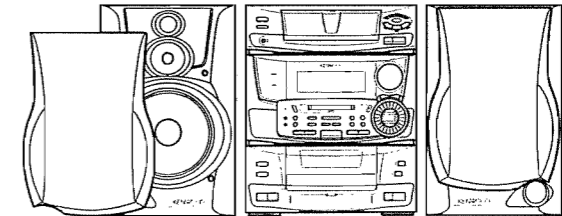


- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

システム名	スピーカー
XM-1MD	LS-N951
KF-77MD	LS-N850
XM-100MD	LS-N650

スピーカーイラストは、一例を示します。

前から見たところ



1. スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
2. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

準備編

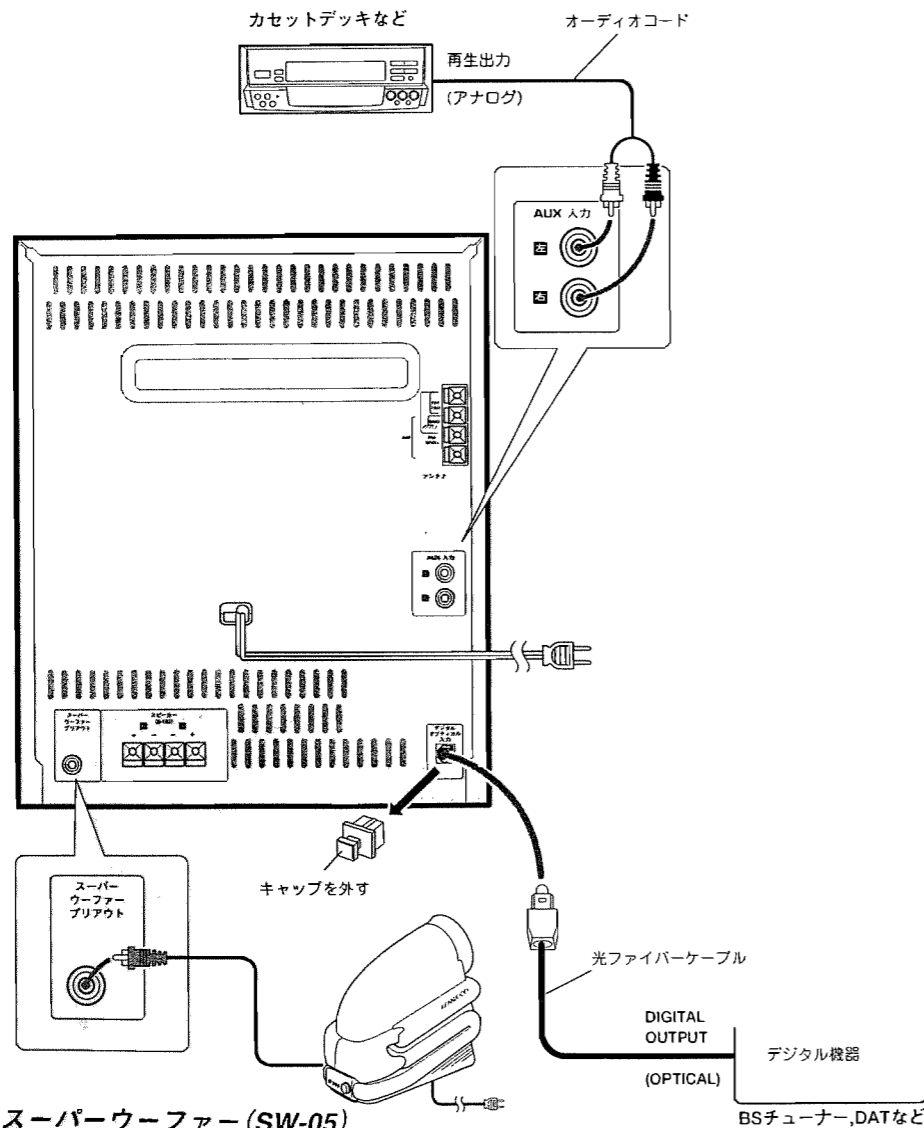
準備編

オプション(別売品)の接続

別売品は、図のように接続します。
接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

⚠ 注意 接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のように行ってください。

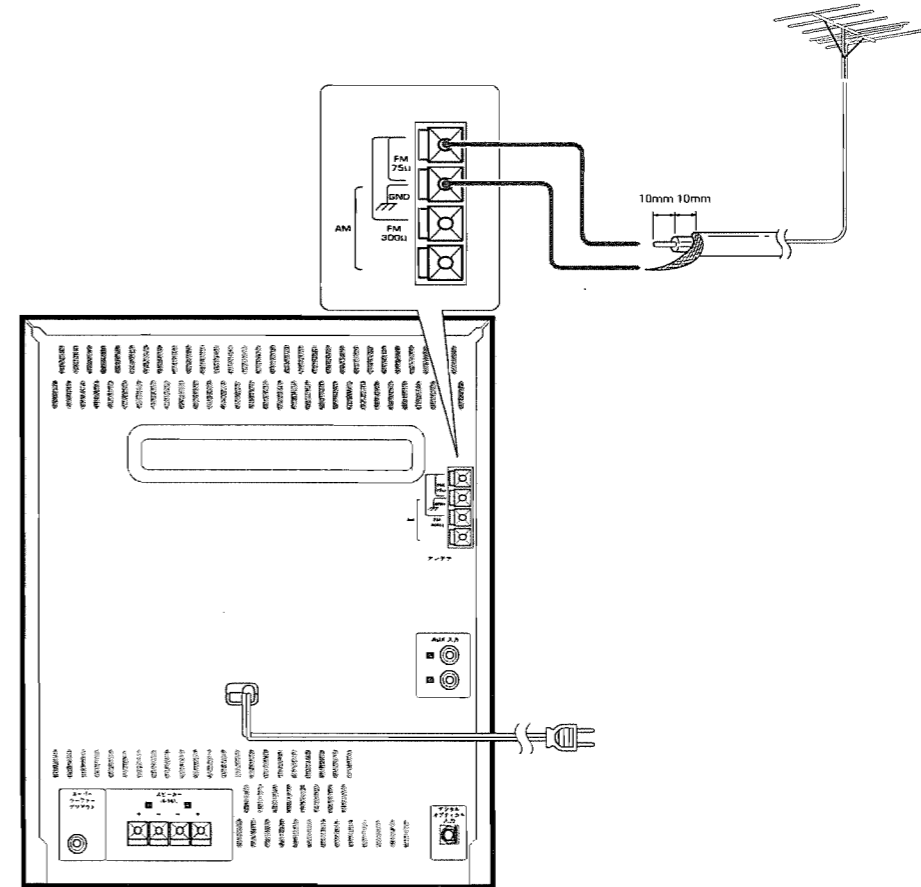


⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

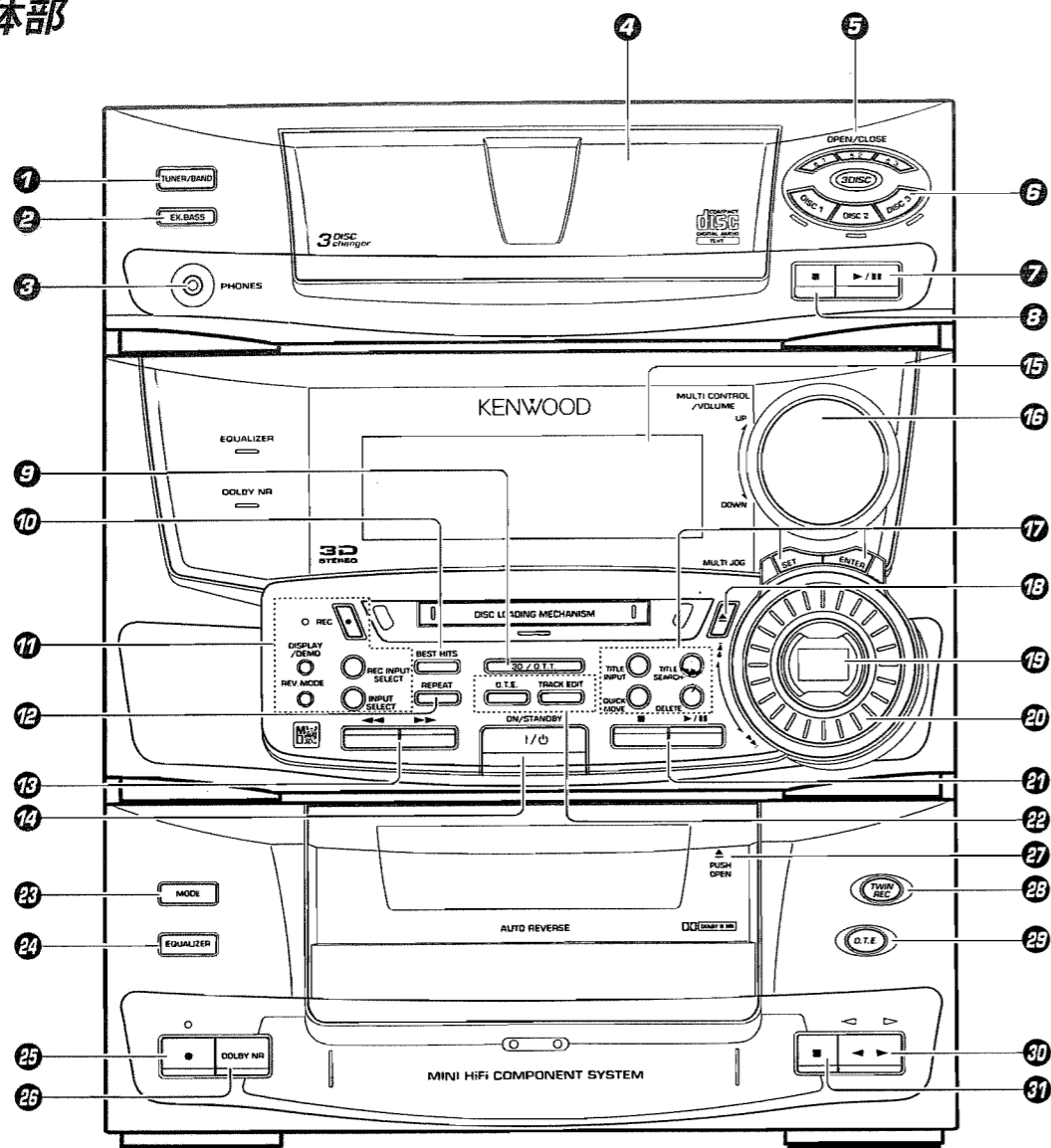


1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜きます。

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

本体部



カセットデッキ部

- ① **MODE**キー
電源オンのとき、**MULTI CONTROL/VOLUME**つまみの機能を切り換えます。選択できる項目は、そのときの状態によって異なります。 - [66], - [68], - [69]
- ② **EQUALIZER**キー
イコライザー効果をオン/オフします。また、イコライザー効果のタイプを選びます。 - [67], - [68]
- ③ **録音 (●)**キー
録音始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(空き)を作ってから一時停止します。 - [39]

- ④ **DOLBY NR**キー
ドルビーノイズリダクションのオン/オフを切り換えます。 - [27]
- ⑤ **カセットホルダー**
テープを出し入れするときは、▲ **PUSH OPEN**のマークを押します。 - [26]
- ⑥ **TWIN REC**キー
CDからMDとカセットテープへの同時録音ができます。 - [50], - [51]
- ⑦ **O.T.E. (One Touch Edit)**キー
CDをワンタッチで録音できます。 - [50], - [51]
- ⑧ **再生 (◀, ▶)**キー
- ⑨ **停止 (■)**キー

CDプレーヤー部

- ⑩ **TUNER/BAND**キー
受信バンドを切り換えます。 - [30]
- ⑪ **EX. BASS**キー
電源オンのとき：EX. BASS再生のオン/オフに使用します。
電源オフのとき：オートパワーセーブのオン/オフに使用します。 - [19]
- ⑫ **PHONES**端子
ヘッドホン(別売)を接続します。 - [19]
- ⑬ **ディスクトレイ(ドア)**
CDを3枚まで収納できます。 - [20]

- ⑭ **OPEN/CLOSE (▲)**キー
ディスクトレイを開閉します。 - [20]
- ⑮ **DISC SELECTOR**キー
再生(または録音)したいディスクを選びます。
- ⑯ **再生/一時停止 (▶/■)**キー
- ⑰ **停止 (■)**キー

アンプ・MDレコーダー部

- ⑱ **3D/O.T.T.**キー
3Dサラウンドのオン/オフを切り換えます。
電源オフのとき：O.T.T.タイマー設定に使用します。 - [69], - [71]
- ⑲ **BEST HITS**キー
収納されている全てのCDの1曲目を、順にプログラムします。
TUNERの時、AUTOキーとして選局モードの切り換えに使用します。 - [52], - [53]
- ⑳ **録音、入力切り換え関連キー**
REC (●)録音キー/インジケータ
録音をするときに使用します。
REC INPUT SELECTキー
入力切替がCDのとき、デジタル/アナログ録音を切り換えます。 - [36]

- ㉑ **タイトル入力、編集関連キー**
TITLE INPUTキー
タイトル入力をするときに使用します。 - [58]
- ㉒ **TITLE SEARCH**キー
タイトルサーチをするときに使用します。 - [24]
- ㉓ **QUICK MOVE**キー
曲順の入れ替えをするときに使用します。 - [60]
- ㉔ **DELETE**キー
タイトル入力のとき、1文字を削除します。 - [59]
- ㉕ **SET**キー
タイトル入力や、編集をするときに使用します。 - [58]
- ㉖ **ENTER**キー
時刻合わせや、タイマー設定などに使用します。また、編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使用します。 - [58], - [70], - [71]
- ㉗ **イジェクト (▲)**キー
MDを取り出すときに押しします。
- ㉘ **MULTI TEXT DISPLAY**表示
色々な文字情報を表示します。 - [14]
- ㉙ **MULTI JOG**ダイヤル (◀◀, ▶▶)
CD, MD再生時、スキップ(曲の飛び越し)キーとして使用します。
TUNERの時、記憶させた放送局を受信するとき使用します。
その他、MDの編集、文字選択、時間の設定などにも使用します。 - [21], - [23]

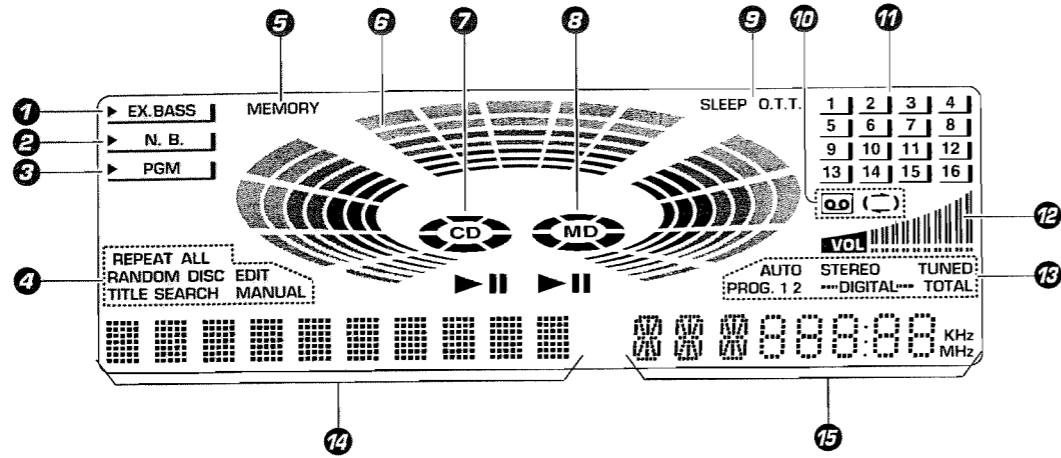
- ㉚ **REPEAT**キー
繰り返し再生のときに使用します。 - [42], - [47]
電源オフのとき：タイマーの設定に使用します。 - [74]
- ㉛ **早送り、早戻し (◀◀, ▶▶)**キー
CD, MD, TAPEのとき：早送り、早戻しに使用します。 - [21], - [23], - [28]
TUNERのとき：放送局の選択に使用します。
タイトル入力時はカーソルの移動に使用します。
- ㉜ **ON/STANDBY (I / O)**キー
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ㉝ **表示部** - [14]
- ㉞ **MULTI CONTROL/VOLUME**つまみ
通常は、音量の調節に使用します。目的に応じてMODEキーで機能を切り換えることができます。 - [66], - [69]

- ㉟ **MD操作キー**
再生/一時停止 (▶/■) キー。
停止 (■) キー。
- ㊱ **編集、タイトル表示関連キー**
TRACK EDITキー
曲を編集するとき、曲の入れ替え消去などに使用します。
また、時刻合わせに使用します。 - [70]
- ㊲ **O.T.E. (One Touch Edit)**キー
CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけをMDへ録音します。停止中に押すと、そのとき選ばれているCDを、1曲目から録音します。
その他プログラムタイマーのセットに使用します。 - [50], - [51], - [74]

表示部

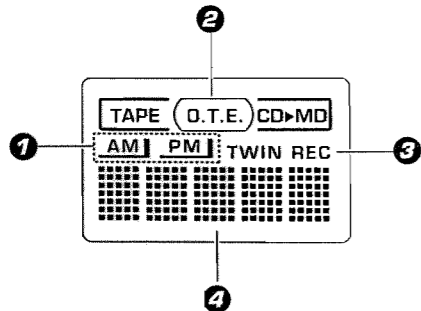
(本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。)

アンプ・MDレコーダー部



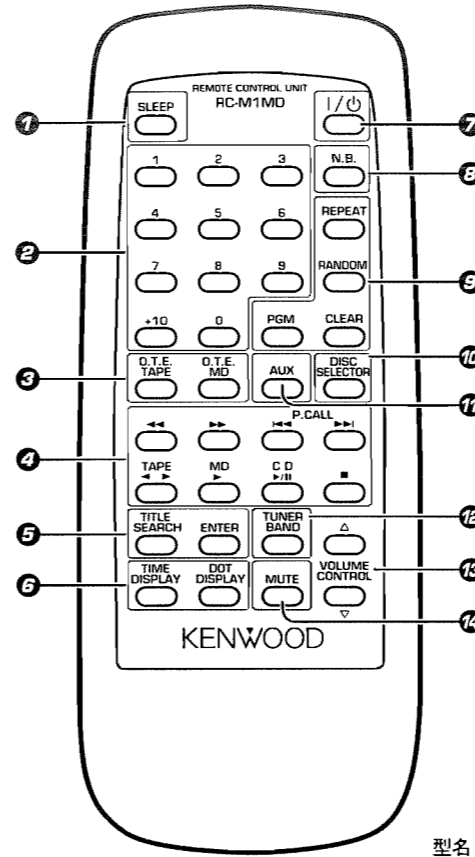
- ① EX.BASS(エキストラバス)表示
- ② N.B.(ナチュラルベース)表示
- ③ PGM(プログラム)表示
- ④ CD,MD関連表示
- ⑤ MEMORY表示
- ⑥ スペクトラムアナライザー表示
- ⑦ ランニングインジケータ
CD、MD等を操作しているときに、動作状態にあわせてインジケータが点灯(回転)します。
CDまたはMDの再生、一時停止の状態を表示します。
- ⑧ SLEEP,O.T.T.(ワンタッチタイマー)表示
- ⑨ カセットデッキ、リバースモード表示
- ⑩ トラック番号表示
CD,MDの収録されている曲数を表示します。
- ⑪ ボリューム表示部
音量の大きさを示します。
- ⑫ チューナー・応用操作等表示部
チューナー表示の他、CDの応用操作、タイマー再生などの表示をします。
- ⑬ 文字情報表示部(ドット表示部)
入力切替、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、ディスクNo.など色々な文字情報を表示します。
- ⑭ 文字情報、時間表示部
周波数表示、時間表示、トラックNo.、プログラムNo.などを表示します。

MULTI TEXT DISPLAY部



- ① 時刻表示(AM:午前、PM:午後)
- ② O.T.E. (One Touch Edit)表示
(TAPE/CD→MD)
- ③ TWIN REC表示
CDからMDとテープへ同時録音するときに表示されます。
- ④ 文字情報/時間表示部
タイトル入力するとき:文字が表示されます。
通常は、時刻が表示されます。

リモコン部



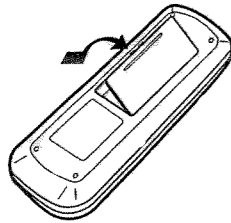
型名:RC-M1MD
赤外線方式

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

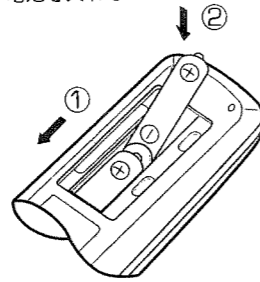
- ⑤ TITLE SEARCHキー
:タイトルサーチをするときに使います。
- ENTERキー
:編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います
- ⑥ TIME DISPLAYキー
:時間表示を切り換えます。
- DOT DISPLAYキー
:ドット表示部の表示モードを切り換えます。
- ⑦ ON/STANDBY(I/O)キー
:電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ⑧ N.B.(ナチュラルベース)キー
:重低音の補正をします。
- ⑨ CD、MD関連キー
(CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて、CD、MDのうちの、選ばれている側に対して働きます。)
- REPEATキー(CD, MD) - ④②, ④⑦
:繰り返し再生するときに使います。
- RANDOMキー(CD) - ④④
:CDの曲順を順不同に再生します。
- CLEARキー(CD, MD) - ④①, ④⑥
:プログラムした曲順を取り消します。
- PGMキー(CD, MD) - ④⑩, ④⑤
:曲順をプログラムするときに使います。
- ⑩ DISC SELECTORキー(CD) - ④②①
:聴きたいディスクを選びます。
- ⑪ AUXキー - ④⑩, ④⑥⑥
:AUX(アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを聴くときに押します。もう一度押しと、デジタルオプティカル入力端子に接続した入力ソースを聴くことができます。
- TUNER BANDキー(チューナー) - ④③①
:放送バンドを切り換えます。
- VOLUME CONTROL(Δ, ▽)キー - ④⑩①
- MUTEキー - ④⑩①
:一時的に音を消したいときに使います。
- SLEEPキー - ④⑦①
:おやすみタイマーを設定するときに使います。
- 数字キー
:CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使います。
- O.T.E.キー(TAPE) - ④⑩①
:本体の(One Touch Edit)キーと同じ働きをします。
- O.T.E.キー(MD) - ④⑩①
:本体の(One Touch Edit)キーと同じ働きをします。
- 基本操作キー
早送り、早戻し(◀, ▶)キー - ④⑩①
P.CALL/スキップ(◀◀, ▶▶)キー(チューナー/CD、MD) - ④⑩①
:記憶させた放送局を受信するときに使います。
:再生時は、スキップ(曲の飛び越し)に使います。
- (TAPE)再生(◀, ▶)キー
(MD)再生/一時停止(▶)キー
(CD)再生/一時停止(▶/||)キー
停止(■)キー

電池の入れかた

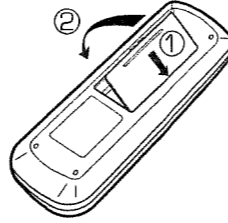
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



●単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

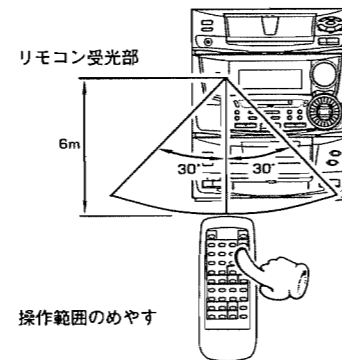
操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのON/STANDBY(⏻/⏷)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

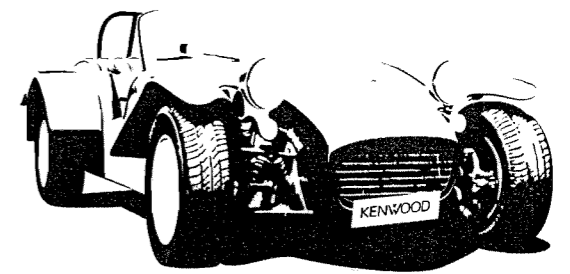
電源をオフにするときは、再度ON/STANDBY(⏻/⏷)キーを押します。

時刻表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

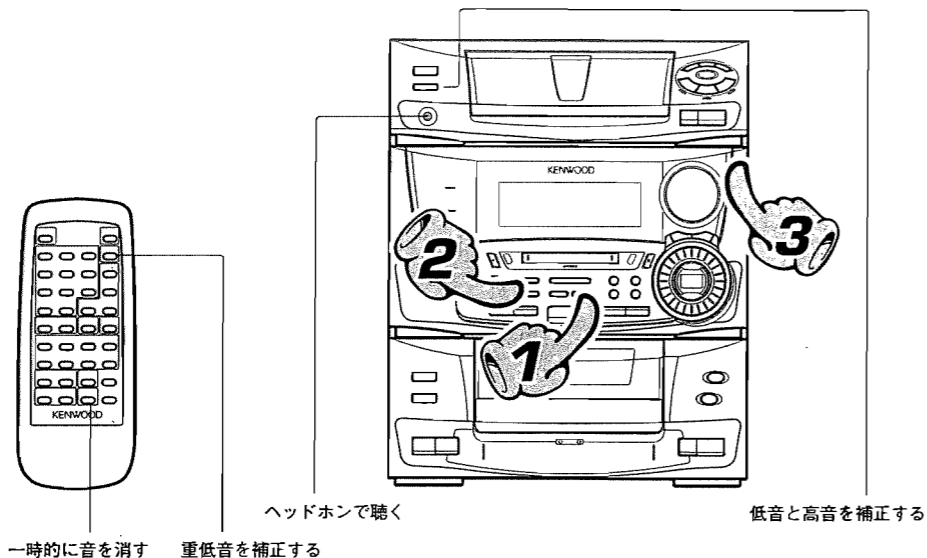
●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



基本的な使いかた

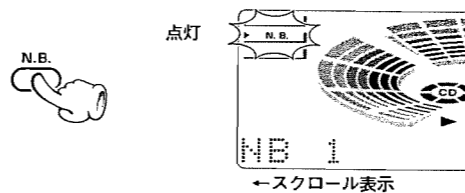


一時的に音を消す (リモコンのみ)



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

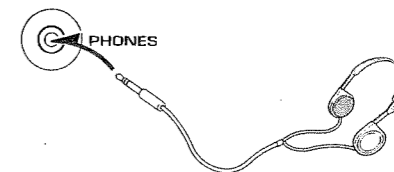
重低音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit : リモコンのみ)



- 押すたびに切り換わります。
- ① NB 1.....音量に合わせて低音域を補正(小音量時に有効です)
 - ② NB 2.....音量にかかわらず低音域を補正
 - ③ NB OFF.....N.B.解除

ヘッドホンで聴く

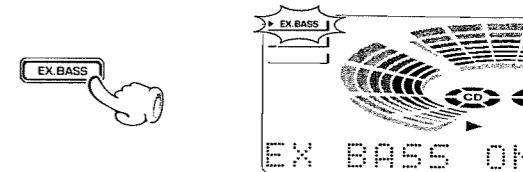
ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む



- スピーカーから音が出なくなります。

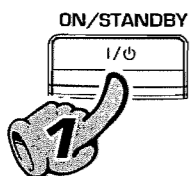
低音と高音を補正する (EX. BASS)

工場出荷時はオンの状態になっています。低音と高音を補正します。



- 押すたびにオン/オフを切り換えます。

1. 電源をオンにする(オフにする)



CD、MD、TAPEの再生キー、またはチューナーのBANDキーを押しても、電源がオンになります。電源がオンのときにON/STANDBY (I/O) キーを押すとオフになります。

- 電源がオフのときは表示部が暗くなります。(DIMMER機能)

2. 聴きたいものを選ぶ

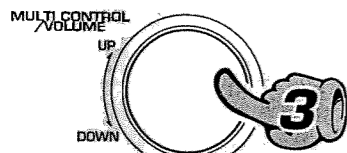
押すたびに切り換わります。



- ① TUNER (放送)
- ② CD
- ③ MD
- ④ TAPE
- ⑤ AUX (外部入力)
- ⑥ DIGITAL IN (OPTICAL入力)

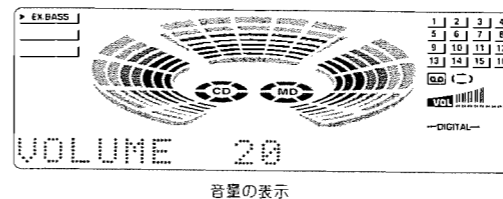
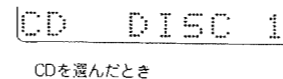
- CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。

3. 音量を調節する



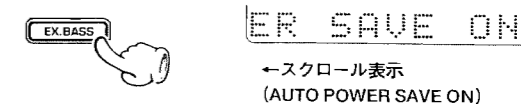
音量を下げる 音量を上げる

- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。



AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、CD、MD、TAPEのすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。



電源がオフ状態でキーを押す。

- ① "ON".....オートパワーセーブを使う
- ② "OFF"...オートパワーセーブを使わない

- 入力切替がTUNER、AUXまたはDIGITAL INのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限り働きます。

ON/STANDBY (I/O) キーのスタンバイについて

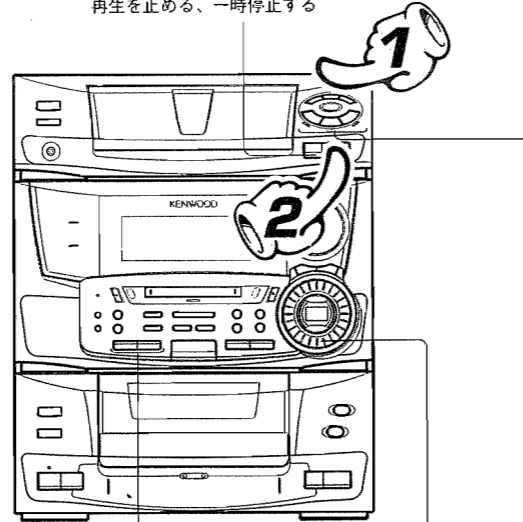
本機のディスプレイ部(時刻表示)が点灯または点滅中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といいます。このときは、リモコンで本機をオンできます。

CDを聴く



CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、再生(▶/⏸)キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

再生を止める、一時停止する

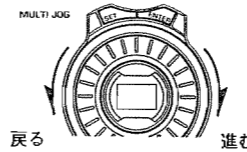


好きな曲から聴く
曲を飛び越す
早送り、早戻しする

早送り、早戻しする

好きな曲から聴く
曲を飛び越す

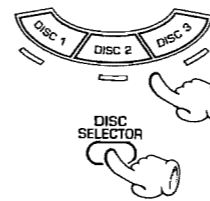
曲を飛び越す



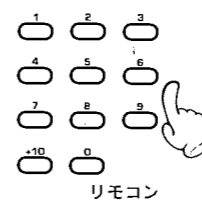
- 回した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に左に少し回すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀▶▶▶ キーでも操作できます。

好きな曲から聴く

ディスクを選ぶ



曲を選ぶ

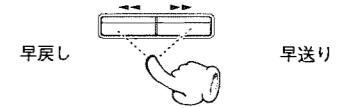


数字キーを押す順序は

23曲目なら ... +10 +10 3
40曲目なら ... +10 +10 +10 +10 0

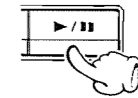
説明文中のカッコ内のキー名称はリモコンキーのもので。

早送り・早戻しする



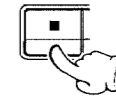
- 手を離したところから再生します。

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り替わります。

再生を止める



基礎編

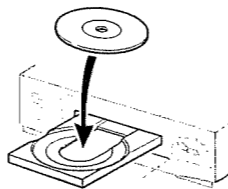
基礎編

1. ディスクを入れる



- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

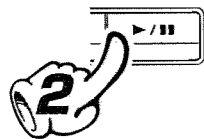
ラベル面を上にする



キーを押すとトレイが開き、もう一度押すと閉まります

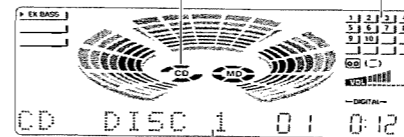
- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

2. 再生をはじめる



ディスクが入っていれば点灯します。

収録されている曲



選ばれているディスクを表示します。

- CD-TEXT対応のディスクでは、タイトルが表示されます。
- 数秒後に1曲目から再生します。

ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなかったり、故障する原因となることがあります。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

テキスト CD-TEXTについて

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたテキスト情報(ディスクまたは曲のタイトル)が自動的に表示されます。

CDプレーヤーの時間表示について

TIME DISPLAYキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

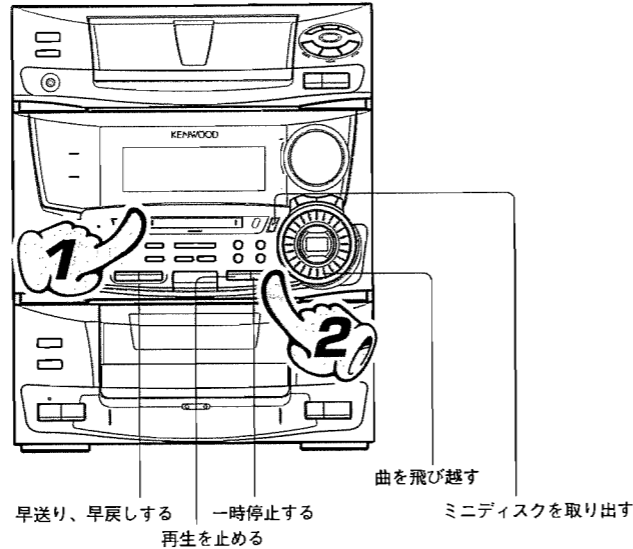
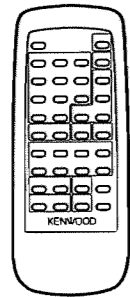
- ① 1:23 再生中の曲の経過時間
- ② -2:37 再生中の曲の残り時間
- ③ 2:34 TOTAL ディスク全体の経過時間
- ④ -36:15 TOTAL ディスク全体の残り時間

- プログラムモード、エディットモードとランダムモードは、再生中の曲の時間表示のみです。

ミニディスク MDを聴く



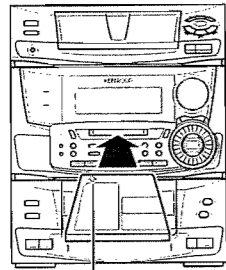
MDレコーダーにあらかじめミニディスクを入れておくと、再生(▶)キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



1 早送り、早戻しする 一時停止する
2 曲を飛び越す ミニディスクを取り出す 再生を止める

基礎編

1. ミニディスクを入れる

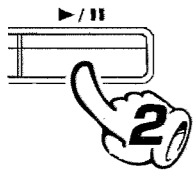


矢印の方向に入れる

ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

- ミニディスクや曲にタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

2. 再生をはじめる



1曲目から聴く場合

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。

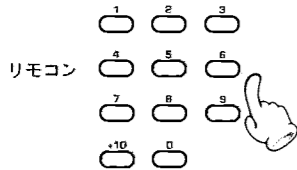
曲を選ぶ場合

数字キーを押す順序は

23曲目なら
..... +10 +10 [3]

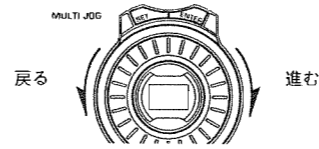
40曲目なら
..... +10 +10 +10 +10 [0]

- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクがない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。



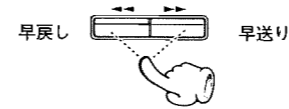
リモコン

曲を飛び越す



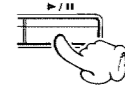
- 回した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に左に少し回すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの◀▶キーでも操作できます。

早送り、早戻しする



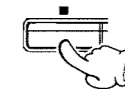
- 操作を止めた所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める



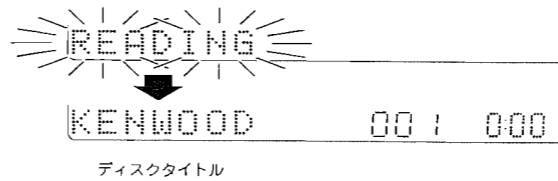
ミニディスクを取り出す



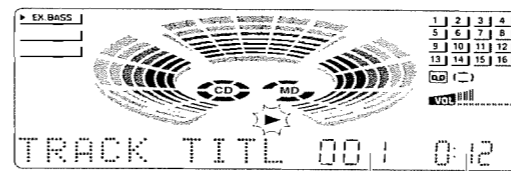
- ミニディスク挿入口に、ミニディスクが出てきます。

基礎編

表示が変わります



ディスクタイトル



再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

モノラル録音されたミニディスクについて

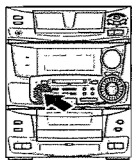
本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。



聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。 -58-

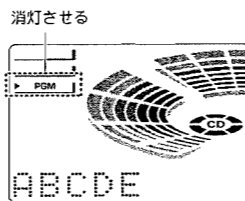
① 入力切換をMDにする



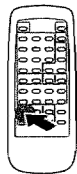
② "PGM"表示を消灯させる



● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。



③ TITLE SEARCHキーを押す



停止中に押す

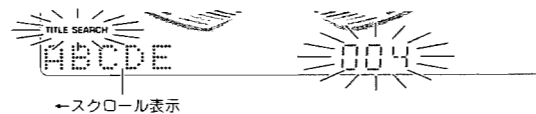
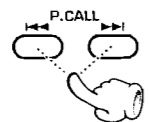


中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

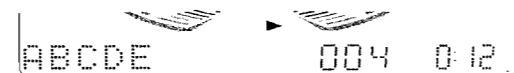
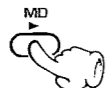
● タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"NO TITLE"が表示されます。
● 本体のMULTI JOGダイヤル(◀▶)でも曲を選ぶことができます。

④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ

トラック番号が戻る トラック番号が進む

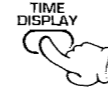
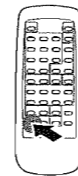


⑤ 再生を始める



タイム ディスプレイ TIME DISPLAYキーについて

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

- 停止中、再生中、PGM停止中
- ① 曲の経過時間 (0:00 表示)
 - ② 曲の残り時間 (-0:00 表示)
 - ③ ミニディスク全体の経過時間、合計記録時間
 - ④ ミニディスク全体の残り時間

表示例

再生中の曲の経過時間
001 1:23

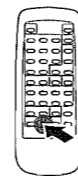
再生中の曲の残り時間
001 -2:34

ミニディスク全体の合計記録時間
TOTAL
001 53:21

ミニディスク全体の残り時間
TOTAL
001-6 1:37

ドット ディスプレイ DOT DISPLAY キーについて

CD、MDの場合、ドット表示部の表示モードを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

(CD-TEXT対応ディスクのとき)

- ① ディスクタイトル表示
- ② トラックタイトル表示
- ③ MDの録音可能時間(MDの録音中のみ)

(CD-TEXT対応でないディスクのとき)

- ① CDのディスク No.
- ② MDの録音可能時間(MDの録音中のみ)

MDの録音中

- ① 通常表示
- ② ミニディスク全体の録音可能時間

ディスクタイトル表示

DISC TITLE 01 0:00

トラックタイトル表示

TRACK TITL 01 0:12

- ①ディスクタイトルと②トラックタイトルは、表示の動いている間(スクロール中)にDOT DISPLAY キーを押して切り換えます。
- 曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"NO TITLE"が表示されます。

MDの録音可能時間表示

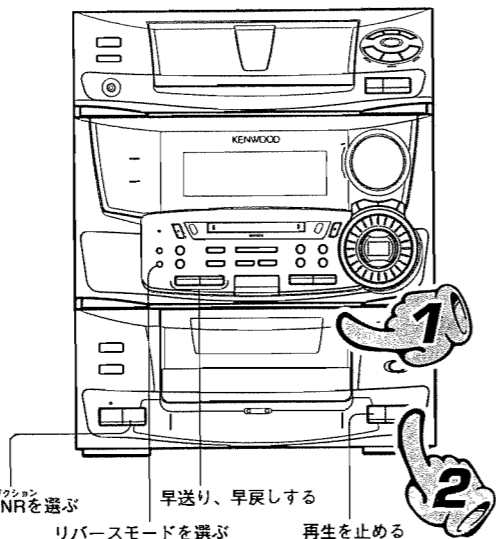
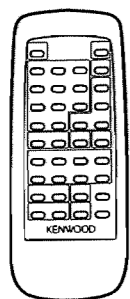
001 R54:32 01 0:12
"R"点灯

- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

テープを聴く



カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、再生キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



ドルビーノイズリダクション
DOLBY NRを選ぶ

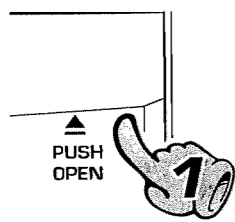
早送り、早戻しする

リバースモードを選ぶ

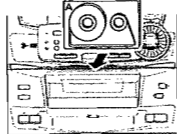
再生を止める

基礎編

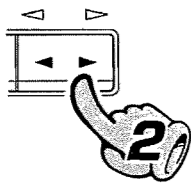
1. カセットテープを入れる



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れ、ドアを閉める



2. 再生する

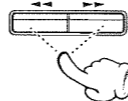


再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

早送り・早戻しする

←方向に早送りする

→方向に早送りする



●早送りを止めるときは、■キーを押してください。

リバースモードを選ぶ

REV. MODE



押すたびに切り換わります。

- ① "→" ... 両面を再生(録音)して止まる
- ② "←" ... 両面をエンドレス再生する(両面を録音して止まる)
- ③ "二" ... 片面のみを再生(録音)して止まる

再生を止める

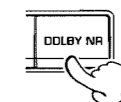


●テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

ドルビーノイズリダクション DOLBY NRを選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。

DOLBY NRをオンにして録音したテープを再生するときは、DOLBY NRをオンにして再生してください。



DOLBY NRがオンのとき点灯

押すたびに切り換わります。

- ① "DOLBY NR" 点灯 ... ドルビーNRを使う
- ② "DOLBY NR" 消灯 ... ドルビーNRを使わない

●DOLBY NRはテープの録音状態に合わせて選んでください。

基礎編



- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。
- ドアは確実に閉めてください。

走行方向表示について

イーザーオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向を、インジケータ(◀▶)の点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、再生中に、◀▶キーを押してから■キーを押します。)

走行方向表示



デッキにテープが入っているときに表示されます。



リバースモードの表示

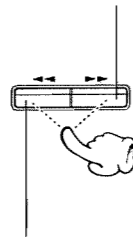
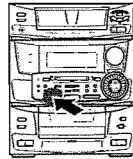


飛び越し選曲 (DPSS)

DPSS (Direct Program Search System) で、4 秒以上の無録音部分を「曲間」として探し出して、曲の頭出しをしたり、途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生することができます。最大16曲まで飛び越せます。

▶方向に再生中

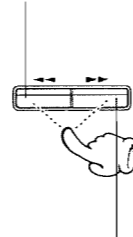
次の曲を聴くとき : 1 回押す
4 曲先を聴くとき : 4 回押す



聴いている曲の最初に戻るとき : 1 回押す
4 曲前に戻るとき : 5 回押す

◀方向に再生中

次の曲を聴くとき : 1 回押す
4 曲先を聴くとき : 4 回押す



聴いている曲の最初に戻るとき : 1 回押す
4 曲前に戻るとき : 5 回押す

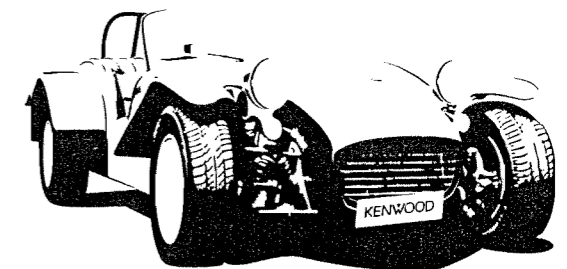


次のようなテープでは、DPSS機能が正常に動作しません。

- 会話、落語などで音声 が 4 秒ぐらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1 曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が 4 秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ

カウンターを利用して

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておく、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が ◀ のとき)はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。



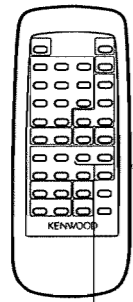
放送を聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。

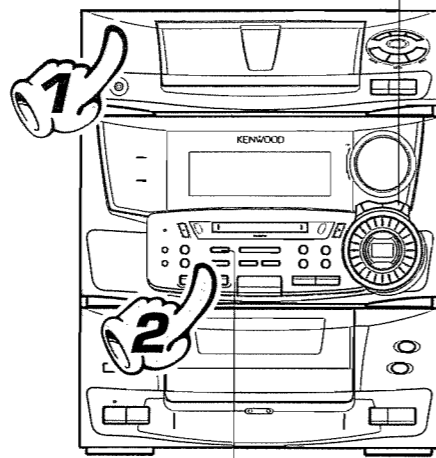


チャージ プリセット TUNER/BANDキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

放送局をまとめて記憶させる
放送局を一つずつ記憶させる



プリセットコール



オート/マニュアル選局切換

放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

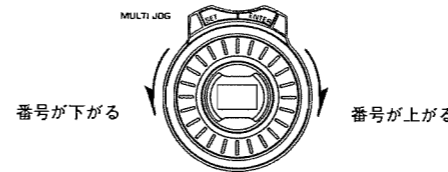
お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることが出来ます。

① 受信中にENTERキーを押す



途中で5秒以上放置すると、プリセットは中止されます。

② 1~40の"プリセットナンバー"を選ぶ



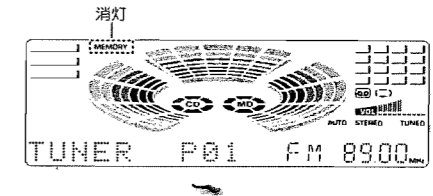
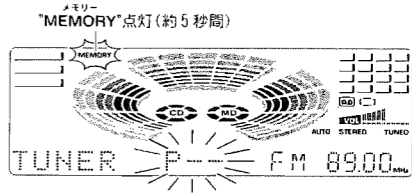
番号が下がる

番号が上がる

③ もう一度、ENTERキーを押す



④ 手順①, ②, ③を繰り返す



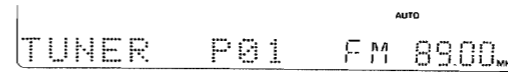
- 最大40局まで放送局を記憶できます。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

1. 放送バンドを選ぶ



押すたびに切り換わります。

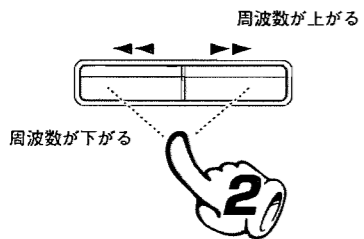
- ① FM
- ② AM



放送バンドの表示

2. 放送局を選ぶ

放送局を記憶させていない場合



周波数が上がる

周波数が下がる

オート選局のとき : 押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局のとき : 受信するまで繰り返し押す。または、押しただまにする。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▶▶Iを押すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
- ◀◀を押すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....



- 押しただまにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンの数字キーでもプリセットコールができます。

選局方法の切り換えについて



- 押すたびに切り換わります。
- ① "AUTO"点灯 (オート選局)
- ② 消灯 (マニュアル選局)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

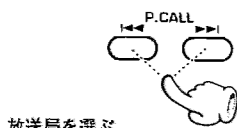
- 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき.....95.75MHz
- 2chのとき.....101.75MHz
- 3chのとき.....107.75MHz

- テレビ放送はモノラル受信になります。



放送局を選ぶ

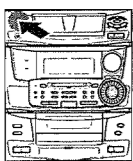
リモコン

放送局をまとめて記憶させる(自動放送局名表示)(オートプリセット)

お住まいの都道府県名を登録すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を表示することが出来ます。
(FM 放送のみ 放送局名リスト-(33))

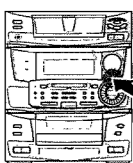
オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っている放送局のみに対応しています。

① 入力切換をTUNERにする



TUNER

② ENTERキーを2秒以上押す



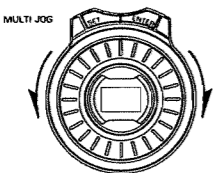
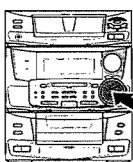
- 現在登録されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録してない場合は、「ケンメイミセッテイ」と表示されます。

トウキョウ

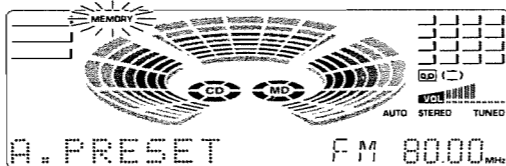
トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県を選んだら、5秒以内に手順③へ進んでください。

③ お住まいの都道府県名を選択する



オートプリセット中は「MEMORY」表示が点滅しています



- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合もあります。
- 受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、「TUNER」とプリセットチャンネルを表示します。



1番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によって、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押すと放送局名を変えることができます。



- 希望する放送局名が放送局名リストにない場合は、SETキーを押しても、表示は変化しません。

放送局名リスト

1997年7月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
	エフエム北海道 エフエム・ノースウェーブ	AIR - G' north wave
北海道地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BER.
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fmヨコハマ
	エフエム富士	FM - FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM

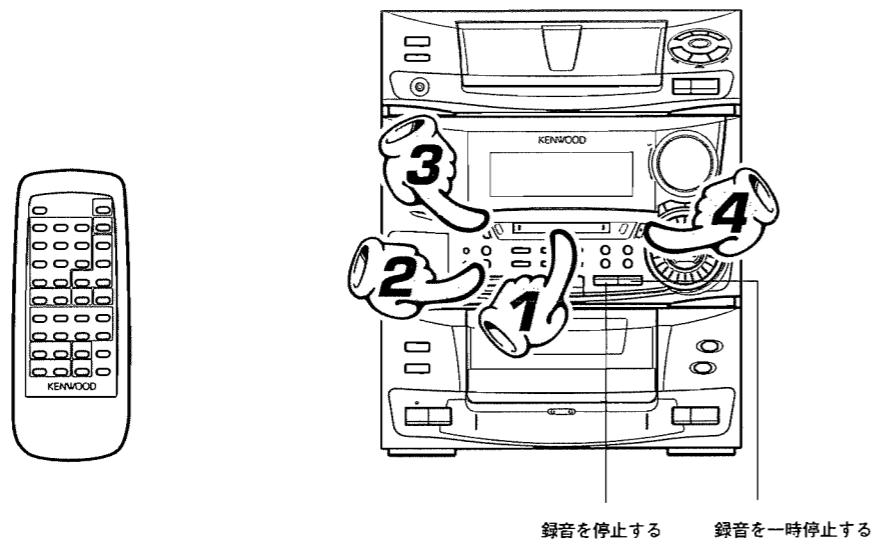
	放送局	表示名
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファSt.
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまると 関西インターメディア	FM802 FM COCOLO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛 エフエム高知	FMエヒメ FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送 FEN オキナワ	NHKラジオ1 FEN オキナワ

ミニディスク
MDに録音する

XM-1MD/KF-77MD/XM-100MD (J)

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



録音を停止する 録音を一時停止する

録音を一時停止する



- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- 録音(● REC)キーを押しても録音を始めることができます。

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

ディスク フル "DISC FULL"	: ミニディスクが一杯になっている。 →不要な曲を消す。 - (64) - (80)
プロテクト "PROTECTED"	: 誤消去防止つまみが開いている。 →閉める。 - (76)
プレイ オンリー "PLAY ONLY"	: 再生専用ミニディスクである。 →録音用ミニディスクを入れる。

録音可能時間を確かめる

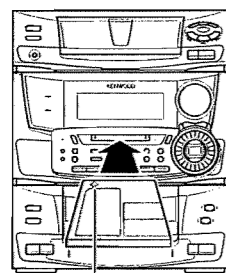
録音または録音一時停止中に押す。



録音を停止する



1. 録音の準備をする



矢印の方向に入れる

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする - (76)
- ② ミニディスクを入れる

2. 何を録音するか選ぶ

MD以外を選んでください。



押すたびに切り換わります。

- ① TUNER(放送): アナログ録音のみ
- ② CD: デジタルまたはアナログ録音
- ③ MD: 録音できません
- ④ TAPE: アナログ録音のみ
- ⑤ AUX: アナログ録音のみ
- ⑥ DIGITAL IN (OPTICAL入力)

CD DISC 1

録音したい入力ソースの表示にします

CDをアナログ録音したいとき:
"REC INPUT SELECT"キーの使いかた" - (36)

●すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので停止(■)キーを押して止めてください。

3. 録音をはじめる



- ① 録音(● REC)キーを押す (録音ポーズ状態になります)
- ② 準備が出来ていれば、もう一度録音(● REC)キーを押す
- ③ 録音する音楽ソースを再生する

●CDからの録音は、"ワンタッチエディット録音"をお読みください。 - (50) - (51)

4. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

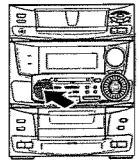


ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

レック インプット セレクト

REC INPUT SELECTキーの使いかた

入力切替がCDのときは、自動的にデジタル録音となります。
CDをアナログ録音したいときは、REC INPUT SELECTキーを使います。



押すたびに切り換わります。

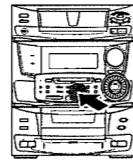
- ① "DIGITAL"点灯：デジタル録音
- ② 消灯：アナログ録音

**録音時のトラックナンバーについて**

録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除します。

もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



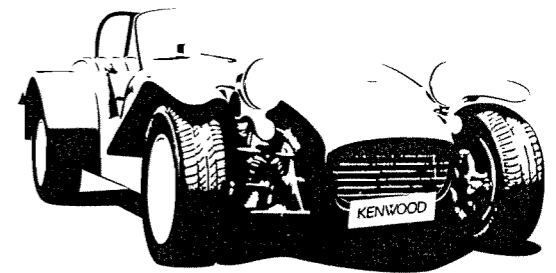
録音中に押す



- CDからのデジタル録音では、曲の切り替わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。(曲の途中で音のない部分が2秒以上続いても、トラック番号は繰り上がりません。)

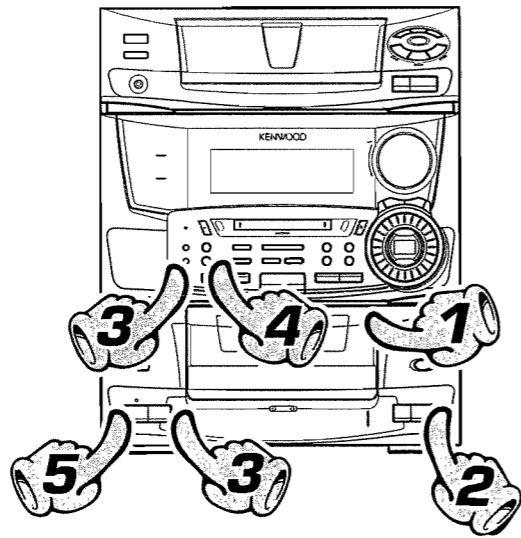
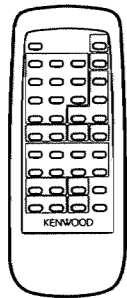


CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)"を参照して削除してください。 - 64



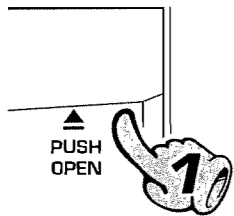
テープに録音する

本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。



基礎編

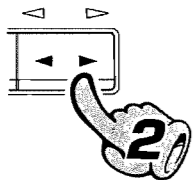
1. カセットテープを入れる



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2. テープの進む向きを選ぶ



走行方向を逆にした場合

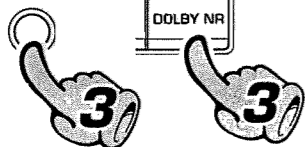
- ① 再生する
- ② もう一度キーを押す
- ③ 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

走行方向表示を確認する



REV. MODE



3. 録音条件を決める

- ① リバースモードを選ぶ
- ② DOLBY NRを選ぶ

リバースモードを選ぶ

REV. MODE



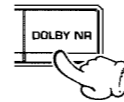
押すたびに切り換わります

- ① "←" 両面を再生(録音)して止まる
- ② "→" 両面をエンドレス再生する(両面を録音して止まる)
- ③ "↔" 片面のみを再生(録音)して止まる

ドルビーノイズリダクション

DOLBY NRを選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。

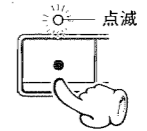


DOLBY NRがオンのとき点灯

押すたびに切り換わります。

- ① DOLBY NR 点灯....ドルビーNRを使う
- ② DOLBY NR 消灯....ドルビーNRを使わない

録音を一時停止するには



- キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。
- キーを押してから4秒以内に再度キーを押すと、その時点から録音を再開します。

CDから録音するときのポイント

CDを録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- ① 再生するCDを一時停止にする
- ② 録音したい曲をスキップキー(←|→)で選ぶ(選んだ曲の最初で一時停止になります。)
- ③ カセットデッキを録音ポーズ状態にする
- ④ CDの再生を始める(シンクロ録音がスタートします。)

- 再生機器の停止(■)キーを押すと、録音を中止します。
- MDからも同様の手順でシンクロ録音できます。

基礎編

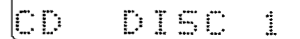
4. 何を録音するか選ぶ



INPUT SELECT

押すたびに切り換わります

- ① TUNER (放送)
- ② CD
- ③ MD
- ④ TAPE (録音できません)
- ⑤ AUX (外部入力)
- ⑥ DIGITAL IN (OPTICAL入力)



録音したい入力ソースの表示にします。

TAPE以外を選んでください。

- CDを選んだ場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まります。

5. 録音をスタートさせる



点灯

- ① 録音したい入力ソースを再生(受信)する
- ② 録音を始める

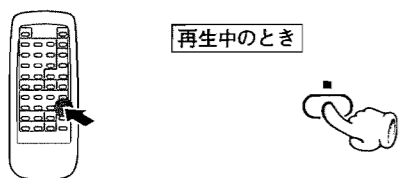
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

トレイに入れたディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

入力切換を"CD"にする

1 停止状態を確認する



2 "PGM"表示を点灯させる

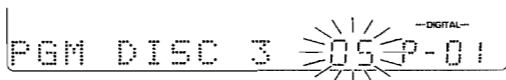


3 聴きたい順に曲を選ぶ

- ① ディスクを選ぶ
DISC SELECTOR
8秒以内に手順②へ
- ② 曲を選ぶ
1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0
- ③ 確定する
PGM

2枚以上のCDから曲を選ぶときは、①、②、③を繰り返してください。

4 再生する



数字キーを押す順序は
23曲目なら ... [+10] [+10] [3]
40曲目なら ... [+10] [+10] [+10] [+10] [0]



- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、PGMキーを押してプログラムモードを解除し、手順②からやり直してください。

- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

応用編

再生を止める



曲を追加する

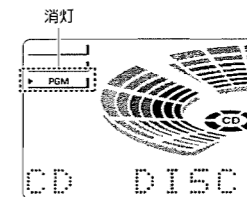
- ① ディスクを選ぶ
DISC SELECTOR
8秒以内に手順②へ
- ② 曲を選ぶ
1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0
- ③ 確定する
PGM

● 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

- 後ろから順に消していく
CLEAR
- 停止中に押す
- 全部消す
PGM

● 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。



応用編

繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換を"CD"にする

一枚のディスクを繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確認する
"PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。

② "DISC REPEAT"を指定する

③ ディスクを選ぶ

消灯を確認する

点灯

押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT
- ② DISC REPEAT
- ③ ALL REPEAT
- ④ リピート解除

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを2回押します。

●"DISC REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

すべてのディスクを繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確認する
"PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。

② "ALL REPEAT"を指定する

③ 再生を始めたディスクを選ぶ

消灯を確認する

点灯

押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT
- ② DISC REPEAT
- ③ ALL REPEAT
- ④ リピート解除

繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します。

●"ALL REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

応用編

入力切換を"CD"にする

一曲を繰り返し聴く

① "PGM"表示の消灯を確認する
"PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。

② "REPEAT"を選ぶ

③ ディスクを選ぶ

④ 曲を選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT
- ② DISC REPEAT
- ③ ALL REPEAT
- ④ リピート解除

点灯

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを3回押します。

●"REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

選んだ曲だけを繰り返し聴く

① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②まで行ない、聴きたい曲をプログラムする - 40

② "REPEAT"を選ぶ

③ 再生する

●選んだ曲全部を繰り返します。

点灯

繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します。

●"REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

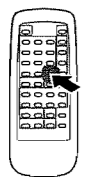
応用編

ランダム再生を楽しむ

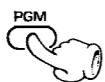
毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"CD"にする

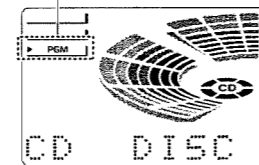
1 "PGM"表示の消灯を確かめる



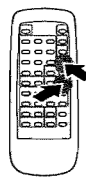
"PGM"表示が点灯しているときは、PGMキーを押して消灯させてください。



消灯を確かめる



2 RANDOMモードを選ぶ



"DISC RANDOM"を選ぶときは、先にディスクを選んでおいてください。



押すたびに切り替わります。

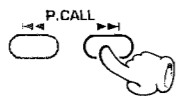
- ① DISC RANDOM 1枚のディスクをランダム再生する
- ② ALL RANDOM 全てのディスクをランダム再生する
- ③ 通常の再生

1枚のディスクをランダム再生するとき 全てのディスクをランダム再生するとき



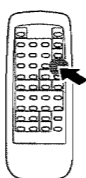
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには



●P.CALLキーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには



"RANDOM"表示を消灯させる



●"RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

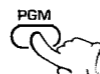
MDを聴く

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

入力切換を"MD"にする

1 "PGM"表示を点灯させる

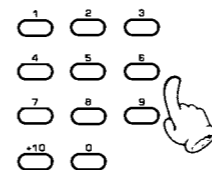


停止中に押す

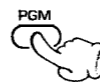
2 聴きたい順に曲番号を選ぶ



① 聴きたい曲番号を選ぶ

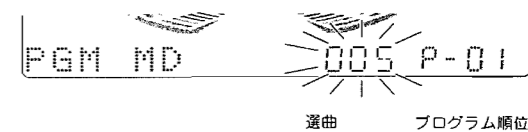
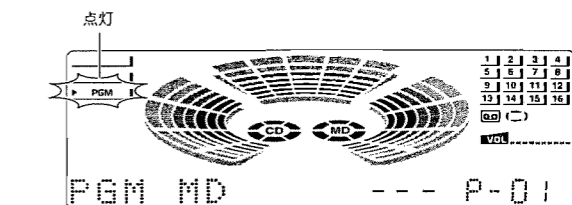
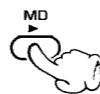


② 確定する



2曲以上を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

3 再生する



数字キーを押す順序は

- 23曲目なら: +10 +10 3
- 40曲目なら: +10 +10 +10 +10 0

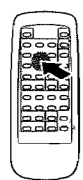
- 32曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEARキーを押してから選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"--:--"になります。

再生を止めるには

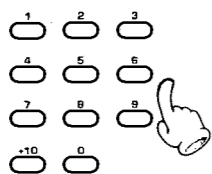


●再生中に、P.CALL または P.FW キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには



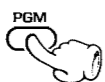
① 追加したい曲番号を選ぶ



停止中に押す



② 確定する

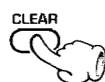


2曲以上を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

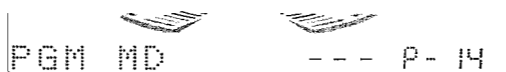
●選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

後ろから順に消していく



停止中に押す



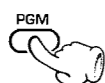
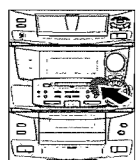
(P-14が取り消されたとき)

●押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

全部消す

リモコン

本体



または



停止中に押す

●プログラムの内容が、全部消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)

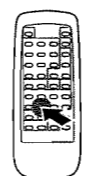
入力切換を"MD"にする

選んだ曲だけを繰り返すには

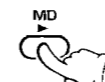
① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②まで行ない、聴きたい曲をプログラムする 45



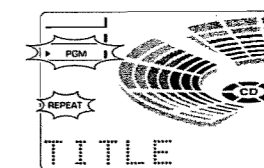
② "REPEAT"表示を点灯させる



③ 再生する



リピート プログラム
"REPEAT"、"PGM"点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

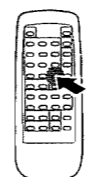
繰り返し再生を止めるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、プログラム再生になります。

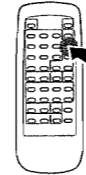
ディスク全体を繰り返すには

① "PGM"表示を消灯させる

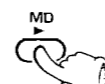
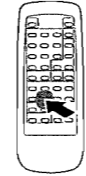


停止状態で押す

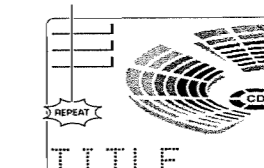
② "REPEAT"表示を点灯させる



③ 再生する



プログラム "PGM"消灯、リピート
"REPEAT"点灯



繰り返し再生を止めるには

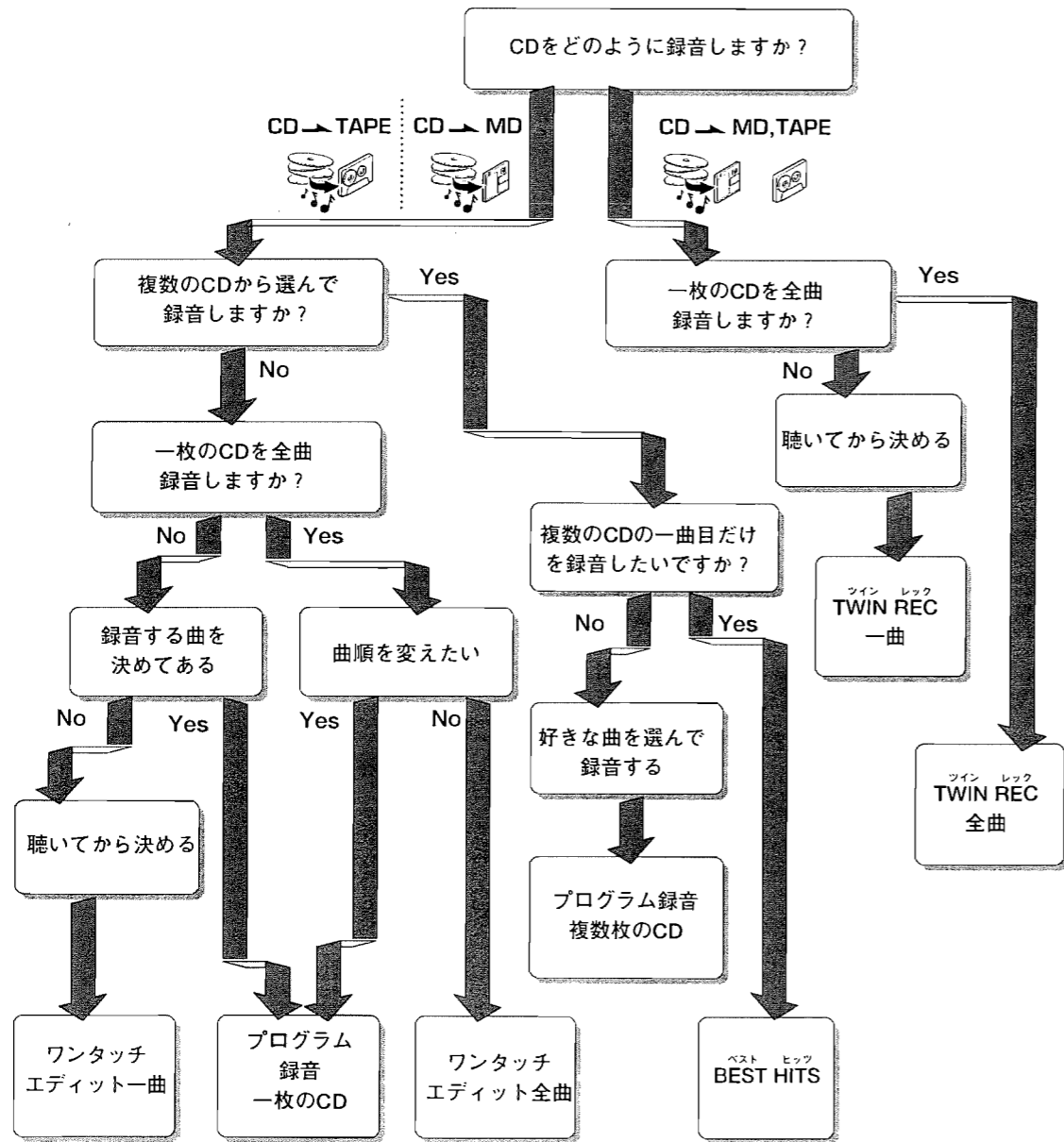
もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、曲番号順の再生になります。

録音のタイプを選ぶ

便利な録音機能が、多数用意されています。用途に応じて選んでください。
2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、「プログラム録音」を選んでください。

START !!



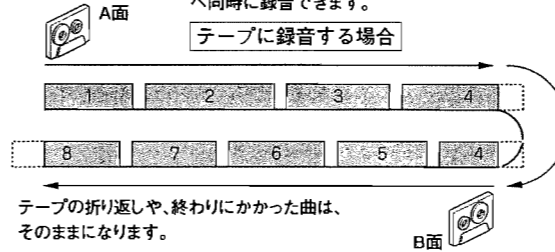
応用編

応用編



A 1枚のCDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音) -50

CD(1枚)の全曲を、ワンタッチで録音できます。CDからテープまたはMDへ、あるいはMDとテープへ同時に録音できます。



B いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音) -51

CDを聴いているとき、ワンタッチで、今聴いている曲だけを、始めから録音できます。CDからテープまたはMDへ、あるいはMDとテープへ同時に録音できます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。

C 1曲目だけを集めたMDを作る (BEST HITS機能) -52

セットされている全てのCDの1曲目を、順にプログラムし、再生または、MDへ録音する機能です。

1曲目だけを集めたテープを作る (BEST HITS機能) -53

セットされている全てのCDの1曲目を、順にプログラムし、再生または、テープへ録音する機能です。

D 1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→MD) (プログラム録音) -54

- 1枚のCDから プログラムした曲順でCDからMDへ録音します。
- 2枚以上のCDから 複数のCDから、好きな曲だけを選んでCDからMDへ録音します。

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→TAPE) (プログラム録音) -55

- 1枚のCDから プログラムした曲順でCDからテープへ録音します。
- 2枚以上のCDから 複数のCDから、好きな曲だけを選んでCDからテープへ録音します。

1枚のCDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)

CD(1枚)の全曲を、ワンタッチで録音できます。
CDからテープまたはMDへ、あるいはMDとテープへ同時に録音することもできます。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- ② INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

CD→MD, TAPE同時録音のとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "◀▶"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる
- ⑦ CDプレーヤーにディスクを入れる

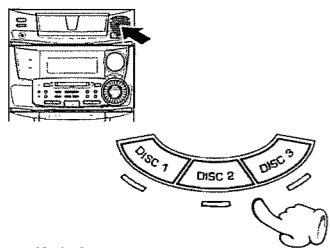
CD→TAPEのとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "◀▶"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音を始める

CD→MDのとき

- ① 目的のディスクを選ぶ



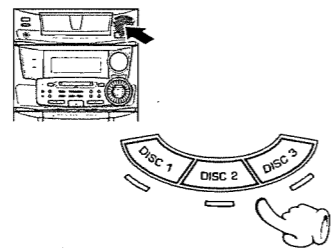
- ② 録音を始める



再生が始まってからO.T.E.キーを押すと、その曲だけ録音されます。

CD→MD, TAPEのとき

- ① 目的のディスクを選ぶ

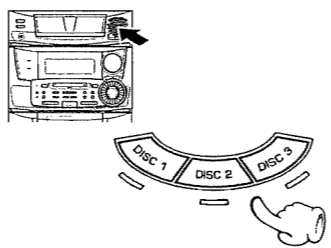


- ② 録音を始める



CD→TAPEのとき

- ① 目的のディスクを選ぶ



- ② 録音を始める



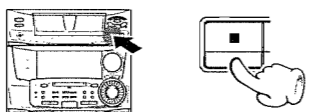
●テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのふんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、他の録音方法をご利用ください。

録音を途中でやめるには

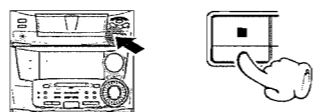
CD→MDのとき



CD→MD, TAPEのとき



CD→TAPEのとき



●録音、再生ともに停止します。

いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。CDからテープまたはMDへ、あるいはMDとテープへ同時に録音することもできます。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- ② INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

CD→MD, TAPE同時録音のとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "◀▶"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる
- ⑦ CDプレーヤーにディスクを入れる

CD→TAPEのとき

- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "◀▶"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる

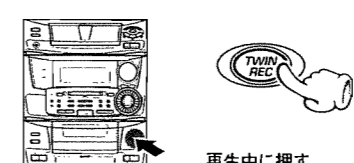
2 CDを再生する

3 録音したい曲の再生中に、O.T.E. または TWIN RECキーを押す

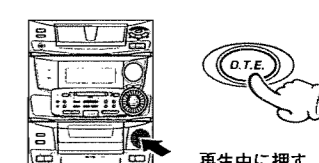
CD→MDのとき



CD→MD, TAPEのとき



CD→TAPEのとき



●再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

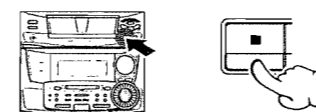
録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。
カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

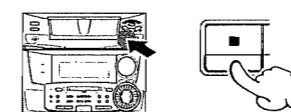
他の曲を録音するには.....手順 ②, ③ を繰り返してください。

録音を途中でやめるには

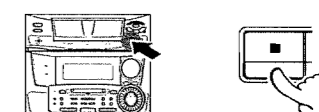
CD→MDのとき



CD→MD, TAPEのとき



CD→TAPEのとき



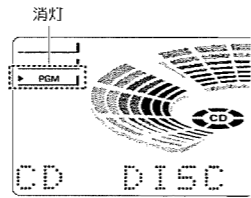
●録音、再生ともに停止します。

1曲目だけを集めたMDを作る (CD→MD) ベスト ヒッツ (BEST HITS機能)

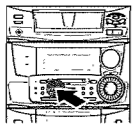
ディスクの1曲目を順に録音していきます。録音中に、すでに録音が終わったディスクを入れ替えることができます。多くのシングルCDから、ヒット曲を集めるときに便利です。

1 録音の準備をする

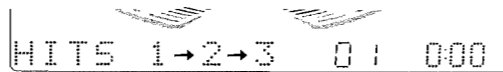
- ① 録音可能なミニディスクを入れる
- ② INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる
- ④ PGM表示を消灯させる



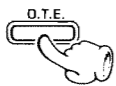
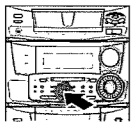
2 BEST HITS キーを押す



停止中に押す

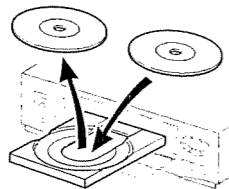
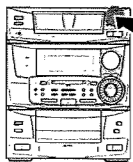


3 録音を始める



4 必要に応じてディスクを入れかえる

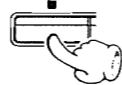
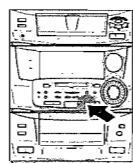
- ① ディスクを入れかえる



- ② トレイを閉める

- それぞれのCDの1曲目だけが自動的にプログラムされます。
- TWIN REC キーを押すと、MDとTAPEへ同時に録音することもできます。
- O.T.E. キーを押す前に、▶/⏸キーを押すと、BEST HITSのプログラム再生ができます。

録音を終了するには



- CDプレーヤーの■キーを押しても、その場で録音を中止しません。
- BEST HITS機能を解除するには、PGMまたはBEST HITSキーを押してください。

順にディスクを入れかえて行くと、中断することなく録音を続けることができます。



1曲目だけを集めたテープを作る (CD→TAPE) ベスト ヒッツ (BEST HITS機能)

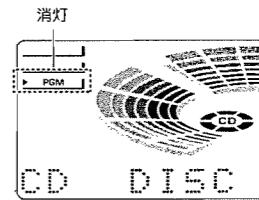
ディスクの1曲目を順に録音していきます。録音中に、すでに録音が終わったディスクを入れ替えることができます。多くのシングルCDから、ヒット曲を集めるときに便利です。



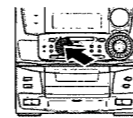
テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

1 録音の準備をする

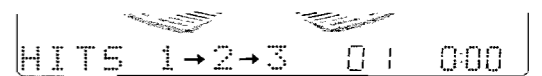
- ① テープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "二" (両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUT SELECTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる
- ⑦ PGM表示を消灯させる



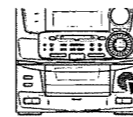
2 BEST HITSキーを押す



停止中に押す

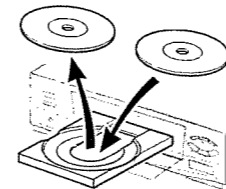
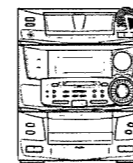


3 録音を始める



4 必要に応じてディスクを入れかえる

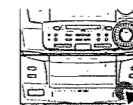
- ① ディスクを入れかえる



- ② トレイを閉める

- それぞれのCDの1曲目だけが自動的にプログラムされます。
- TWIN REC キーを押すと、MDとTAPEへ同時に録音することもできます。
- O.T.E. キーを押す前に、▶/⏸キーを押すと、BEST HITSのプログラム再生になります。

録音を中止するには



- CDプレーヤーの■キーを押しても、その場で録音を中止しません。
- BEST HITS機能を解除するには、PGMまたはBEST HITSキーを押してください。

順にディスクを入れかえて行くと、中断することなく録音を続けることができます。



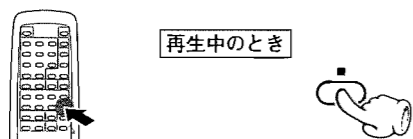
1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→MD) (プログラム録音)

3枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを1枚のMDに収録することができます。

録音の準備が必要です

-50

1 停止状態を確認する

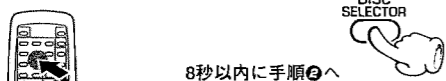


2 "PGM"表示を点灯させる



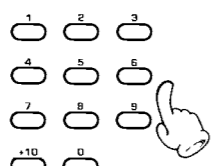
3 録音する順に曲を選ぶ

① ディスクを選ぶ

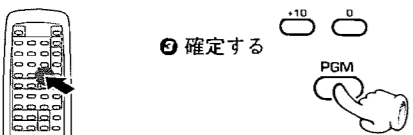


8秒以内に手順②へ

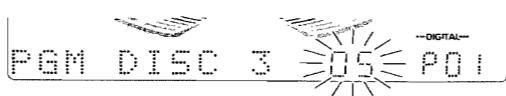
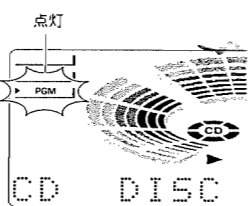
② 曲を選ぶ



③ 確定する



2枚以上のCDから編集するときは、①、②、③を繰り返してください。



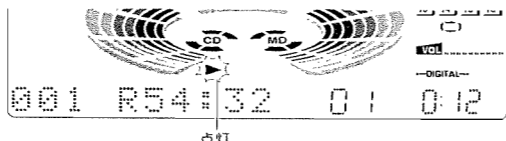
選んだ曲番号を表示します

- 使用するMDの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから、選び直してください。

4 録音をスタートする



録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。



- CDがトレイ内で交換中は、MDの録音は一時停止しています。
- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→TAPE) (プログラム録音)

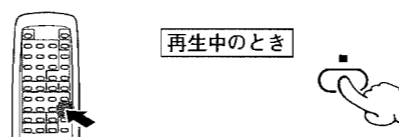
3枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに収録することができます。

テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのふんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

録音の準備が必要です

-50

1 停止状態を確認する

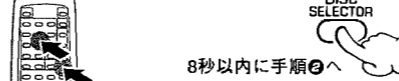


2 "PGM"表示を点灯させる



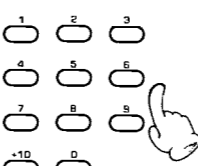
3 録音する順に曲を選ぶ

① ディスクを選ぶ

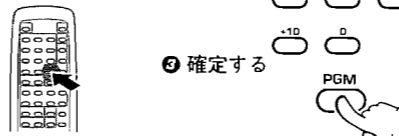


8秒以内に手順②へ

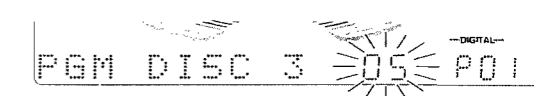
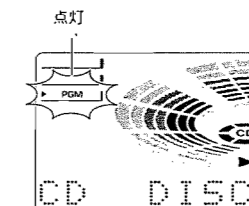
② 曲を選ぶ



③ 確定する



2枚以上のCDから編集するときは、①、②、③を繰り返してください。



選んだ曲番号を表示します

- 使用するテープの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから、選び直してください。

4 録音をスタートする



- CDがトレイ内で交換中は、テープの録音は一時停止しています。
- テープの収録時間を超過してプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。
- 編集した内容を取り消すには、PGMキーを押すと、編集内容のすべてが消えます。

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 - [76]

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませよう、お願いいたします。 - [79]

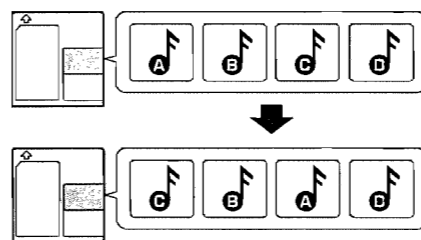
ミニディスクや曲にタイトルをつける - [58]

タイトルを変更、消去する - [59]

英数字に加えてカタカナの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

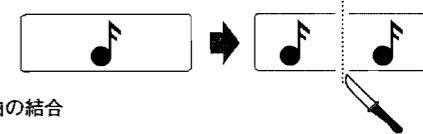
曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE) - [60]
曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE) - [61]



曲の分割と結合

曲の分割 曲を分ける (TRACK DIVIDE) - [62]

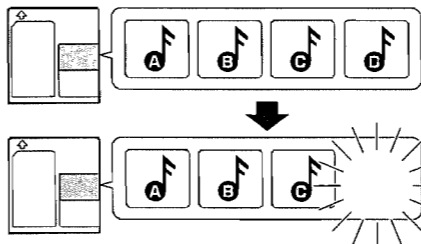


曲の結合

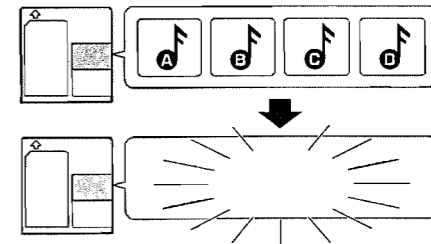


曲の消去

1曲消す (TRACK ERASE) - [64]



全曲消す (ALL ERASE) - [64]

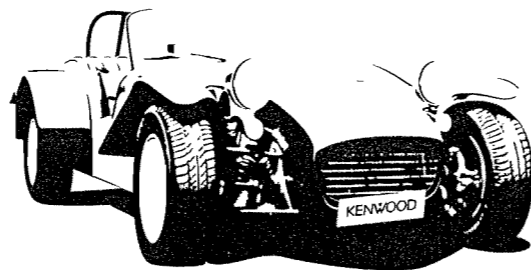
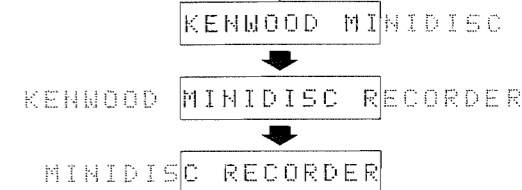


表示部のスクロールについて

ミニディスクや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきれないことがあります。このようなときは、表示部の文字が右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ

表示される範囲(全体を表示できない)



ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。説明文中のカッコ内のキー名称はリモコンキーのものです。

停止、または再生中に操作してください

1 タイトル入力状態にする

- ① TITLE INPUTキーを押す
- ② 曲名かディスクタイトルかを選ぶ
- ③ 確定する

中止するときは、TITLE INPUTキーを押します。

2 タイトルを入力する

- ① 入力する文字のグループを選ぶ
- ② 目的の文字を選択カーソルに合わせる
- ③ 選んだ文字を確定する

①~③を繰り返して、タイトルを入力します。

3 タイトル入力を実行する

- ① タイトルを書き込む
- ② 終了する

ディスクタイトルをつける場合は停止状態で行ないます。曲にタイトルをつける際、手順①-③の前にMD▶(再生)キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

●ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



次のような種類の文字や数字、記号が選べます。DISPLAY/DEMOキーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A~Z と、スペース(1文字分の空白)
- a~z と、スペース
- 0~9 と、各種記号と、スペース
- カタカナと、スペース

- MULTI JOGダイヤルを回すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- MULTI JOGダイヤル内の液晶部にも文字が表示されます。

ミニディスクタイトルの例



応用編

タイトルを変更、消去する

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

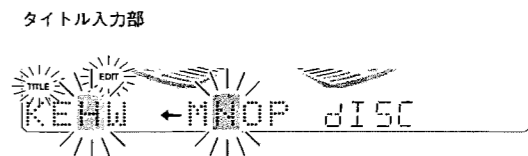
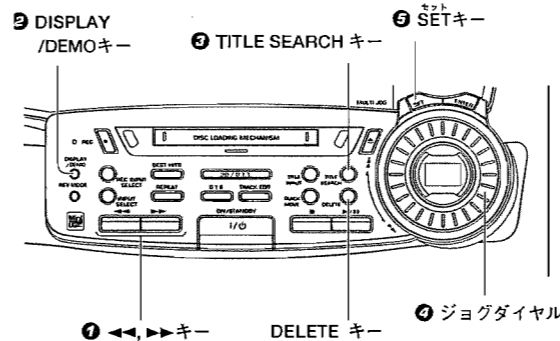
各種記号(ASCIIコード)一覧：
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_`

タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。説明文中のカッコ内のキー名称はリモコンキーのものです。

1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順①を行なう

2 1文字ずつ変更または消去していく

- ① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる
- ② 文字グループを選ぶ
- ③ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ



TITLE SEARCHキーを押すたびに切り換わりします。

- ① 上書きモード：文字を入れ替えるとき (カーソル " " が大きくなる)
- ② 挿入モード：カーソルの前に文字を入力するとき (カーソル " " が小さくなる)

キー機能について

DISPLAY/DEMOキー：文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。電源オフのとき：デモンストレーションのオン/オフに使います。

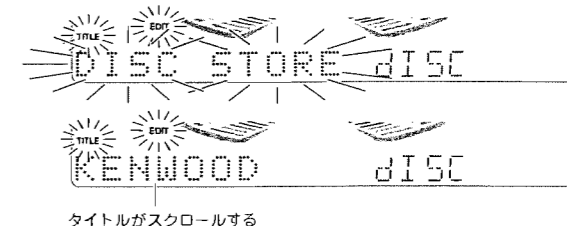
DELETEキー：カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにする)と、簡単にタイトルを消去できます。

- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、<<、>>キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていた部分が現れます。
- MULTI JOGダイヤルを回すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

手順①~③の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

3 タイトルの変更、消去を実行する

- ① タイトルを書き込む



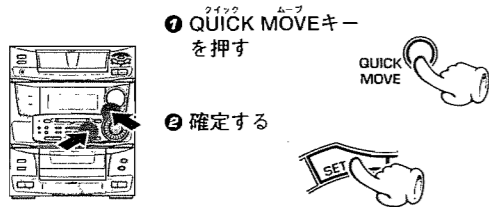
応用編

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

停止中に操作してください

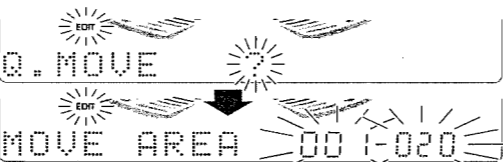
1 QUICK MOVE キーを押す



1回の処理で入れ替えられるのは、連続する20曲の範囲です。

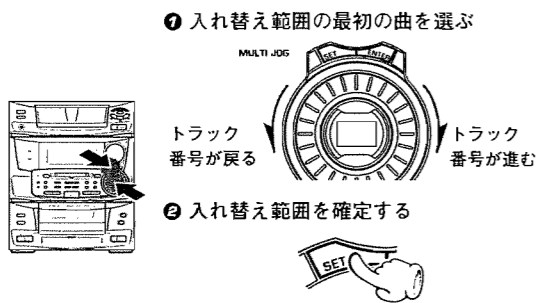
説明文中のカッコ内のキー名称はリモコンキーのものです。

中止するときは、もう1度QUICK MOVEキーを押します

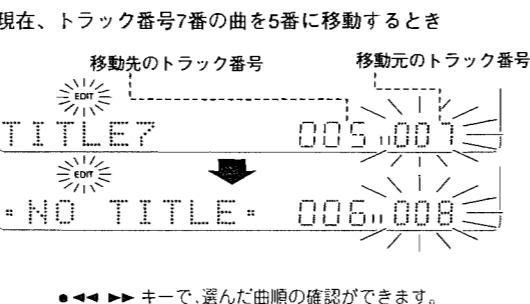
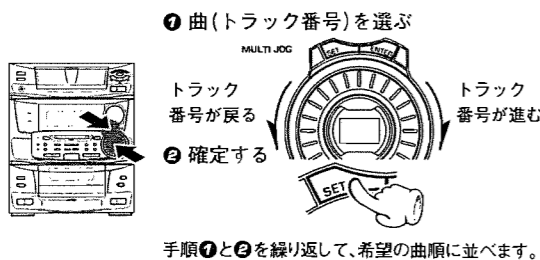


途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 入れ替える範囲を決める



3 希望の曲順に並べ替える



4 曲順の入れ替えを実行する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

●処理が終了するまで、少し時間がかかります。
●"COMPLETE"表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、ON/STANDBY(1/0)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

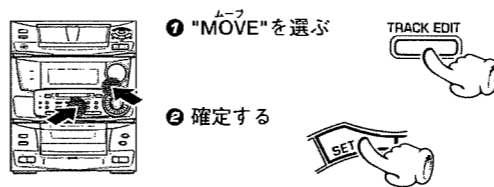
応用編

曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

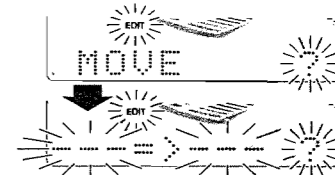
停止中に操作してください

1 "MOVE"を選ぶ



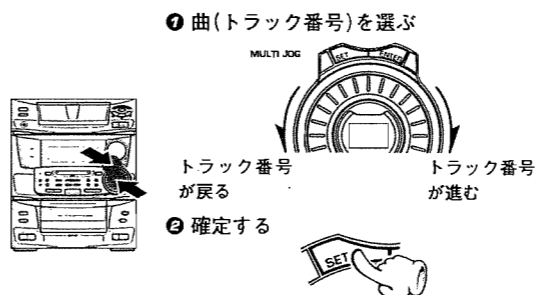
押すたびに切り換わります。

- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除



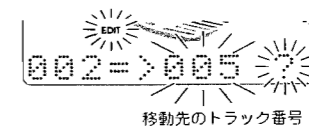
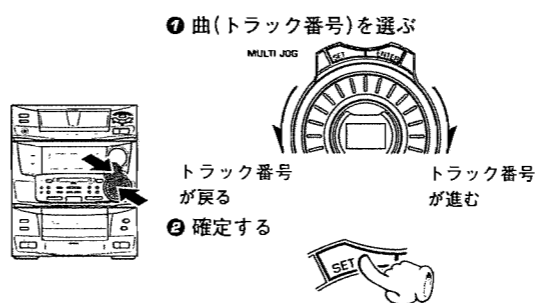
途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 移動する曲を選ぶ

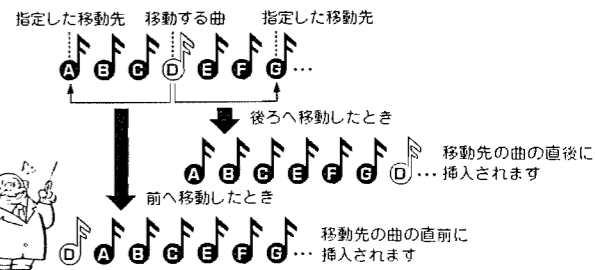


移動させる曲

3 移動先を選ぶ



移動先のトラック番号



4 曲順の入れ替えを実行する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

COMPLETE !

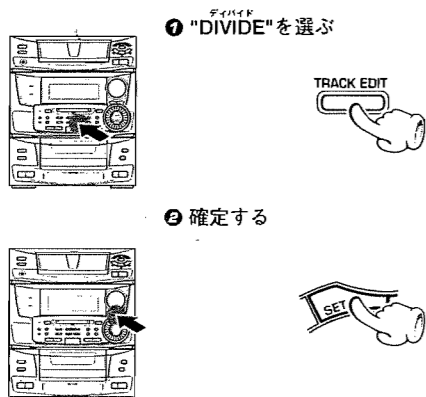
応用編

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

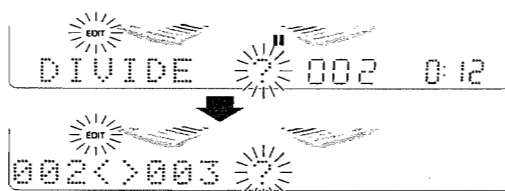


●再生一時停止中にも編集できます。

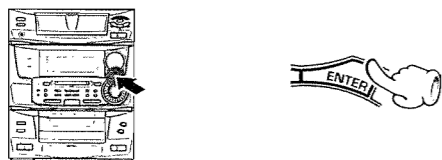
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除

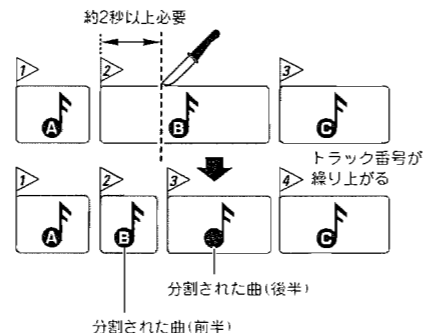
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



3 曲の分割を実行する



1~3を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。



COMPLETE !

- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトルになります。

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

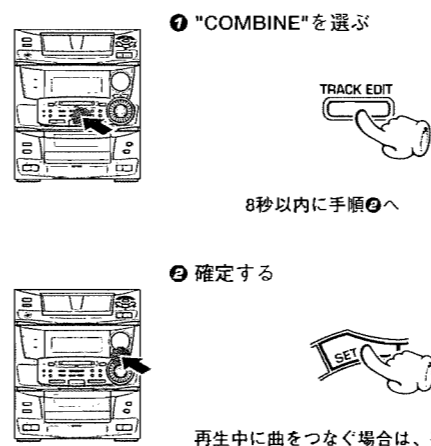
応用編

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

ミニディスクの最初の曲の再生中には"COMBINE"を選べません。

1 "COMBINE"を選ぶ



●再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDIT キーを押してください。

押すたびに切り換わります。

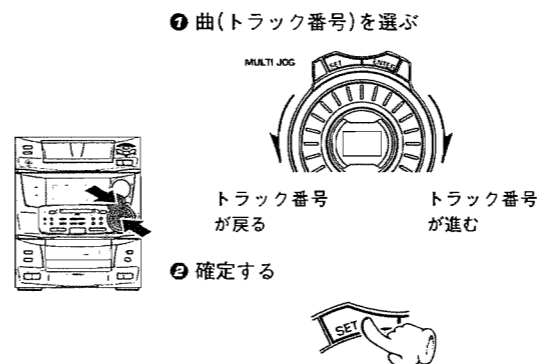
- ① MOVE?
- ② COMBINE?
- ③ ALL ERASE?
- ④ 編集解除



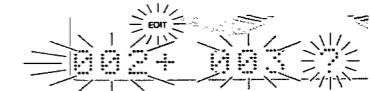
- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE?
- ④ 編集解除



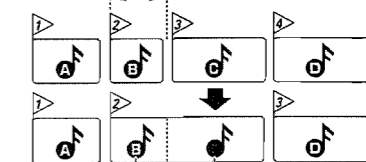
2 つなぎたい曲を選ぶ



2曲目と3曲目をつなぐ場合



約2秒以上必要



前半部のトラック番号とタイトルが残る 後半部のトラック番号とタイトルは消える

3 曲と曲の結合を実行する



COMPLETE !

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

ミニディスク取り出しの際の"WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

応用編

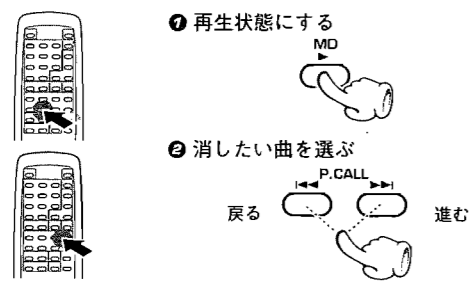
1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

1曲消す場合 (TRACK ERASE)
再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

全曲消す場合 (ALL ERASE)
停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

1 準備をする

1曲消す (TRACK ERASE) のとき



2 ERASEモードを選ぶ

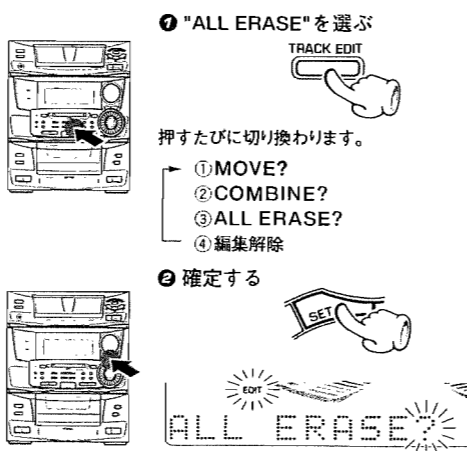


3 消去を実行する



●曲が消去されます。(トラックタイトル含む)

全曲消す (ALL ERASE) のとき



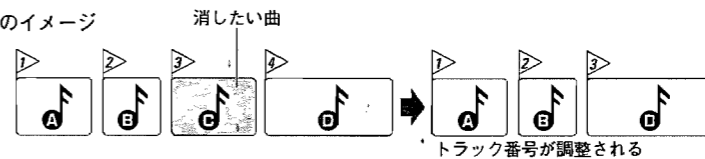
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



●ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

1曲消す (TRACK ERASE) のイメージ



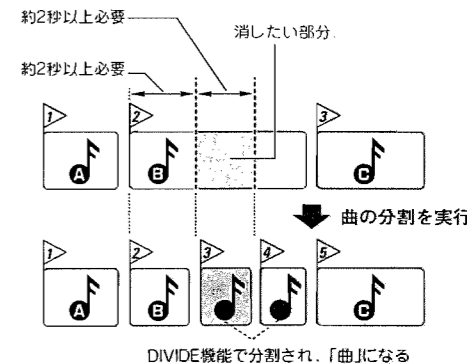
曲の一部分を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分を1つの曲にする。
- ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。

この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

① 消したい部分を1つの曲にする

曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。

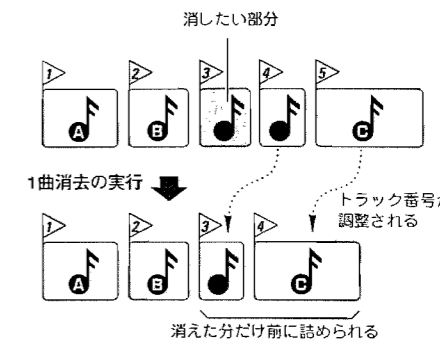


② 消したい部分を消去する

1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、手順①で作った「曲」(消したいところ)を消去してください。



③ 編集終了後、ミニディスクを取り出す



1曲消す (TRACK ERASE) - 64

ミニディスク取り出しの際の「WRITING」表示は、録音や編集に関連する情報をミニディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

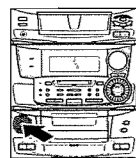
本機では、イコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。

バランスとインプットレベルの調整

バランス 左右の音量バランスを調整します。

インプットレベル .. AUX入力端子に接続された外部機器 (ビデオデッキ等) からの入力レベルを調整します。他のCD,MD等と同じくらい大ききで聞こえるように、調整してください。

1 何を調整するか選ぶ



5秒以上放置すると音量の調節に戻ります

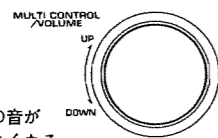
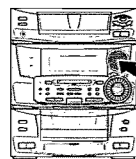
押すたびに切り換わります。

- ① BALANCE : 左右の音量バランス
- ② INPUT : AUX端子に接続された外部機器からの入力レベル
- ③ VOLUME : 通常の音量表示
- ④ 通常の表示

●"INPUT"はAUXのときに限り表示されます。

2 調整する

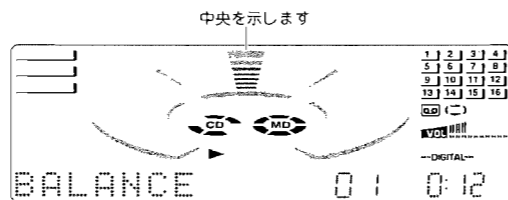
バランス調整のとき:



右の音が小さくなる

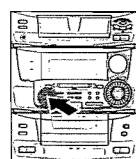
左の音が小さくなる

バランス調整のとき



中央を示します

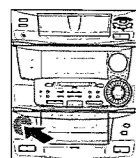
インプットレベル調整のとき:



① AUX(外部入力)を選ぶ



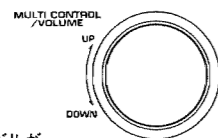
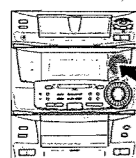
② 接続した機器を再生してみる



③ INPUTを選ぶ



④ インプットレベルを調整する



レベルが小さくなる

レベルが大きくなる

インプットレベル調整のとき

●リモコンのAUXキーでも操作できます。



設定レベル (約5秒間表示)

●-6~+3の範囲で調整ができます。



インプットレベルを調整するときは、"INPUT"の表示中におこないます。

お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

3通りのイコライザーパターンに加えて、あなたの作ったイコライザーパターンを記憶させておき、呼び出して使うことができます。

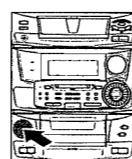
録音時、イコライザー効果をかけた状態での録音はできません。

イコライザーパターンを選ぶ

聴いている音楽のジャンルにあわせて、お好みでイコライザーのパターンを選ぶことができます。

① 聴きたい曲を再生する

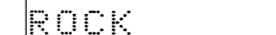
② 希望のイコライザーパターンを選ぶ



EQUALIZER

呼び出されるイコライザーパターン

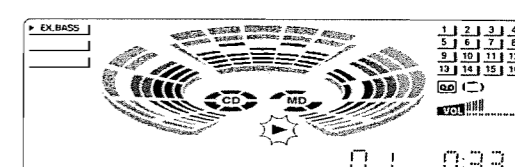
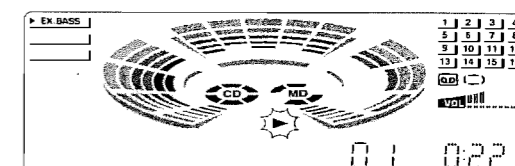
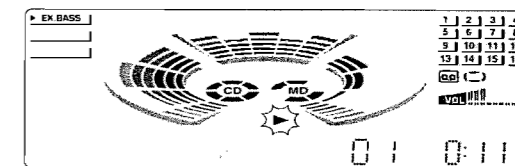
- ① ROCK ロック
- ② CLASSIC クラシック
- ③ POP ポピュラー
- ④ MANUAL -[EQ]
- ⑤ EQ. OFF 解除



"ROCK"を選んだ例



スペクトラムアナライザーの表示イメージ



ディスプレイ デモ
DISPLAY/DEMOキーについて

ディスプレイ部のスペクトラムアナライザー動作(表示)を3通りに切り換えることができます。(電源オフのときは、デモンストレーションのオン/オフに使用します。)



DISPLAY/DEMO

押すたびに切り換わります。

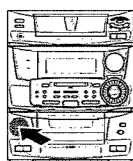
- ① NORMAL (放射状に動作)
- ② SHOWER (逆放射状に動作)
- ③ REVERSE (①のピーク部分の反転表示)
- ④ 動作モード表示 (消灯部の回転)

●INPUT SELECTの設定によっては、④のモードには入りません。

イコライザーパターンを作って記憶させる

お好みのイコライザーパターンを編集して記憶させることができます。

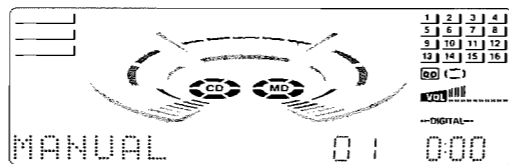
① "MANUAL"を表示させる



3秒以内に手順②へ

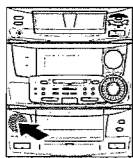
押すたびに切り換わります。

- ① ROCK
- ② CLASSIC
- ③ POP
- ④ MANUAL (イコライザーパターンの編集)
- ⑤ EQ. OFF



② イコライザーパターンを調整します。

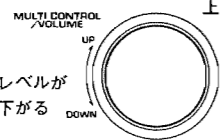
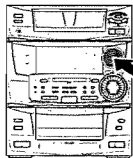
① 周波数バンドを選ぶ



押すたびに切り換わります。

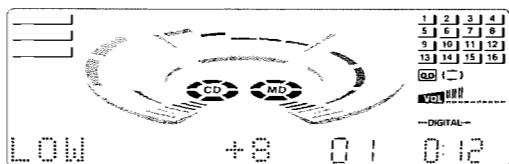
- ① LOW 低音域 (ベースやバスドラムなど)
- ② MID 中音域 (ヴォーカル、ギターなど)
- ③ HIGH 高音域 (シンバルなど)

② レベルを調整する



レベルが上がる

レベルが下がる



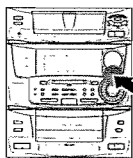
設定項目

設定レベル

①,②を繰り返し、LOW, MID, HIGHのそれぞれが調整できます。

●それぞれの周波数バンドを-8~+8の範囲で調整できます。

③ 記憶させる



応用編

応用編

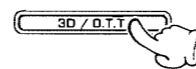
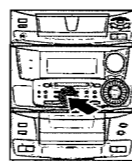
音場効果を楽しむ

録音時、3Dサラウンド効果をかけた状態での録音はできません。

3D サラウンドを体験する

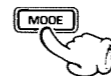
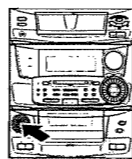
3次元的な音響空間を造り出すシステムです。奥行感や、音場の広さなど明らかに向上し、リスニングエリアも広がります。

① 3Dサラウンドをオンにする



キーを押す度にオン/オフが切り換わります。

② 効果の強さ(レベル)を調節する



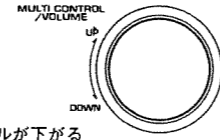
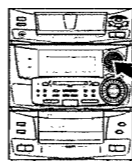
"LEVEL"を表示させる

押すたびに切り換わります。

- ① BALANCE
- ② LEVEL
- ③ INPUT
- ④ VOLUME
- ⑤ 通常の表示

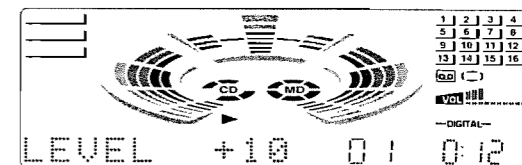
●"INPUT"はAUXのときに限り表示されます。

効果の強さを調節する



レベルが上がる

レベルが下がる



レベルの表示

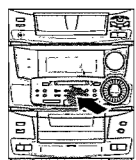
- -10 ~ +10 の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。

ACコードをコンセントに接続すると、時計表示が点滅します。説明に従って正確な時刻を合わせてください。

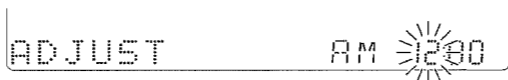
本体ディスプレイの時刻表示は、電源オフ中のみです。
(電源オン時は、MULTIJOGダイヤル内の液晶部に表示されます。)

電源がオフになっていることを確認してください。

1 時刻合わせモードにする

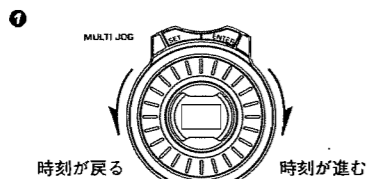
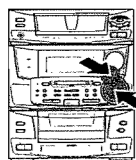


8時45分に合わせる例



●時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

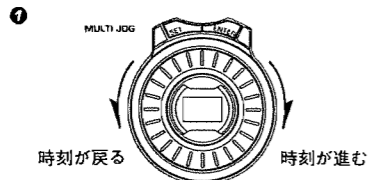
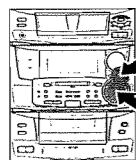


時刻が戻る 時刻が進む



●時刻は12時間表示で表示されます。
●SETキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる



時刻が戻る 時刻が進む



●間違えて押したときは、最初からやり直してください。
●時報と同時にENTERキーを押すと正確な時刻表示ができます。
●停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

応用編

オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (O.T.T.)

指定の時刻に、選んだ入カソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフになります。設定直後の1回だけ働きます。

おやすみタイマー (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2)

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。
MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。 (80)

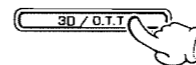
オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (Operate easy To use Timer : O.T.T.)

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

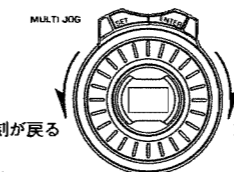


O.T.T.タイマーによる動作が終了するまでは、プログラムタイマーは働きません。

- 1 聴きたいソースを選び、音量を設定する
- 2 電源をオフにする
- 3 3D/O.T.T.キーを押す



- 4 オン時刻をセットする

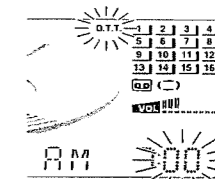


時刻が戻る 時刻が進む

- 5 決定する



押すたびに切り換わります。
① "O.T.T." 点灯 ... タイマーを使う
② "O.T.T." 消灯 ... タイマーを使わない



オン時刻の表示

●オン時刻は、5分単位で設定できます。

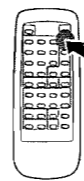
解除するには

電源がオフのままで、3D/O.T.T.キーを2回押す。

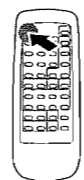
スリープ
おやすみタイマー (SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します

- 1 電源をオンにする

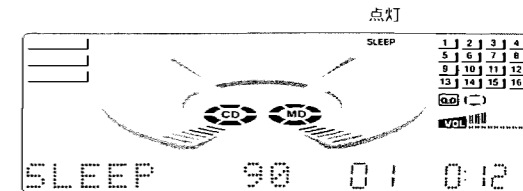


- 2 時間を設定する



●セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
●1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大約90分まで設定できます。

90 → 80 → 70 30 → 20 → 10 → 解除 → 90 → 80



セットする時間

解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押す

応用編

プログラムタイマー予約

2系統(プログラム1, PROG.2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG.1とPROG.2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。

- 80

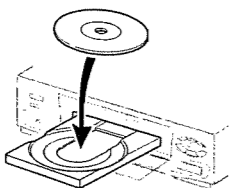
- 8

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

1 聴く(録音する)ための準備をする

- 放送局を聴く**
- CDを聴く**
- 外部入力ソースを聴く**
- MDを聴く**
- テープを聴く**
- 録音する**

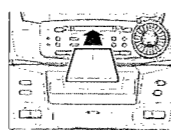
放送局をプリセットしておく。



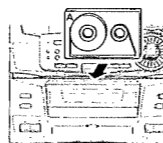
再生するディスク(1,2,3)を選んでおきます。

AUXおよびDIGITAL IN(OPTICAL入力)端子に接続した機器のタイマー設定をする。

ミニディスクを入れる。

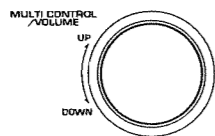
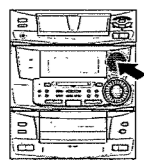


テープをセットする。

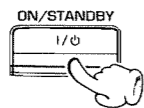
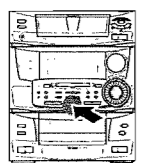


MD - 34
TAPE - 38

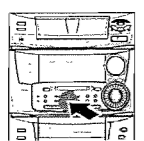
2 音量を調節する



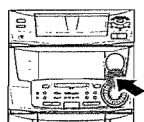
3 電源をオフ(スタンバイ状態)にする



4 プログラム番号を選ぶ



8秒以内に手順②へ

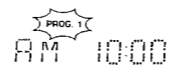


プログラム内容の表示中に押す



押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム1
- ② PROG.2 プログラム2
- ③ 通常状態

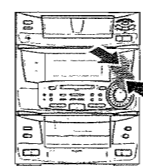


- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

応用編

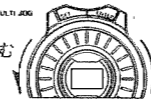
応用編

5 オン時刻を設定する



①

時刻が進む



時刻が戻る

②

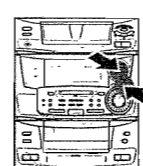


- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。



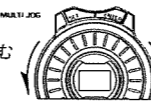
- 間違えたときは手順④からやり直してください。

6 オフ時刻を設定する



①

時刻が進む



時刻が戻る

②



- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。

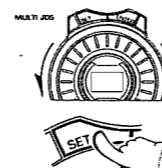


- 間違えたときは手順④からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

① モードを選ぶ



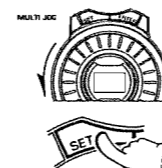
(1) "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ

- ① PLAY... タイマー再生
- ② REC
- ③ AI PLAY... だんだん音が大きくなるタイマー再生

(2) 決定する



② 入力ソースを選ぶ



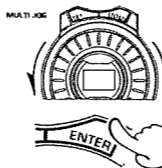
(1) 何を聴くか選ぶ

- ① TUNER 放送
- ② CD
- ③ MD
- ④ TAPE
- ⑤ AUX... 外部入力(テープなど)
- ⑥ DIGITAL IN(OPTICAL入力)

(2) 決定する

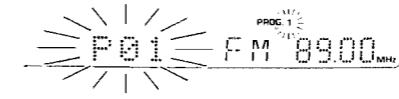


③ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)



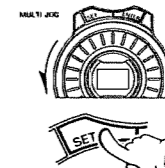
(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 決定する



タイマー録音をするとき

① モードを選ぶ

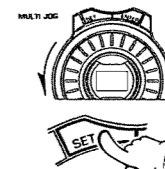


(1) "REC"を選ぶ

- ① PLAY
- ② REC
- ③ AI PLAY

(2) 決定する

② 入力ソースを選ぶ

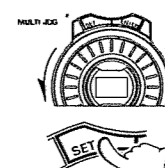


(1) 何を録音するか選ぶ

- ① TUNER 放送
- ② AUX... (外部入力)
- ③ DIGITAL IN (OPTICAL入力)

(2) 決定する

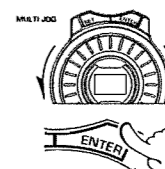
③ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)



(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 決定する

④ 録音する機器を選ぶ



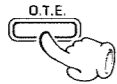
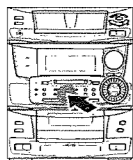
(1) 選ぶ

- ① MD
- ② TAPE

(2) 決定する

手順が次ページへ続きます

8 働かせたいプログラム番号をセットする



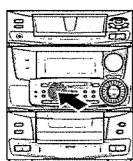
押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム1のみ実行
- ② PROG.2 プログラム2のみ実行
- ③ PROG.1, 2.. プログラム1と2の両方を実行
- ④ タイマー オフ
 - 選んだプログラム番号が点灯します。
 - プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

電源がオフになっていることを確認してください。

予約の内容を確認する

確認したいプログラム番号を選ぶ



予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

押すたびに切り換わります。

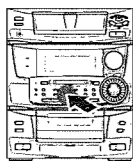
- ① PROG.1 プログラム1を表示
- ② PROG.2 プログラム2を表示
- ③ 通常状態
 - 予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

予約内容を変更したいときは

"プログラムタイマー予約"を始めからやり直してください。

タイマーを働かせたくないとき

プログラム表示をすべて消灯させる



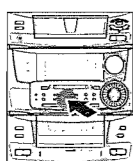
押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム1が働きます
- ② PROG.2 プログラム2が働きます
- ③ PROG.1, 2..... プログラム1,2ともに働きます
- ④ 消灯..... プログラムは働きません

●予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

セットしたいプログラム表示を点灯させる



押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1 プログラム1が働きます
- ② PROG.2 プログラム2が働きます
- ③ PROG.1, 2..... プログラム1,2ともに働きます
- ④ 消灯..... プログラムは働きません

●ディスク、MDの準備、音量の調節をしておきます。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

スピーカーの設置とテレビについて

- このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	アンプ部 電源の状態(オンまたはスタンバイ) 入力切換 ボリュームの値 バランスの設定 イコライザーのユーザーメモリー 3Dサラウンドレベル チューナー部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムタイマーの設定 内容
電源オフまたは、電源プラグをコンセントから抜いて最低約半日で消えるメモリーの内容	MDレコーダー部

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

- CD、MDを入れないで、電源をオンにします。
- MDの▶/■キーを押す。

MD NO DISC

- CDの▶/■キーを押す。
- しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

- 数秒間待って、電源をオフにします。

ステレオ音のエチケット



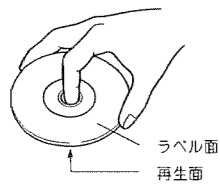
楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品。

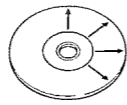
ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

ディスクの取り扱い方

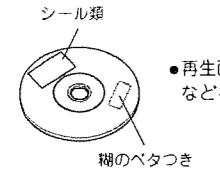
ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

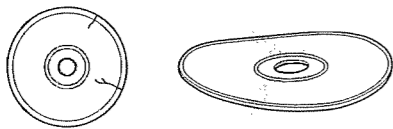


●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

異常なディスクは使用しない



再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

クリーニングディスクは使わない

内部の機構を傷めることがありますので、市販のクリーニングディスクは使用しないでください。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm, 8cm), CDV(オーディオパートのみ)

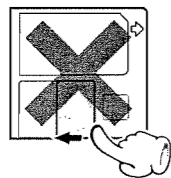
- CD-G(CDグラフィックス)ディスクは、本機では音声のみの再生になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

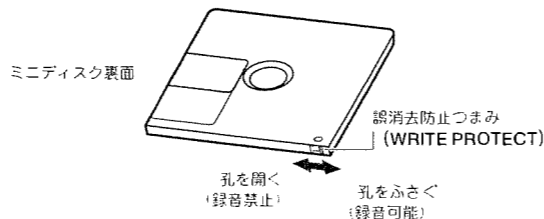
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出し出してください。

お手入れのしかた

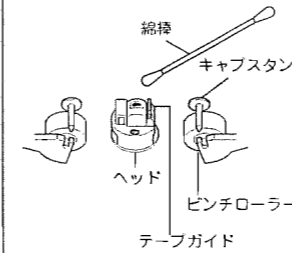
定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかかり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

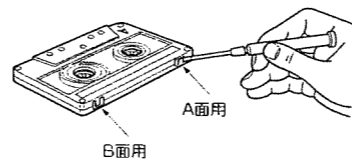
ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドレーザー)で消磁してください。

カセットテープについてのご注意

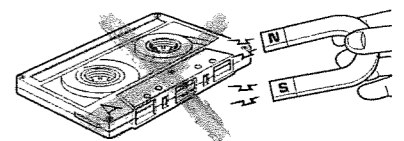
誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



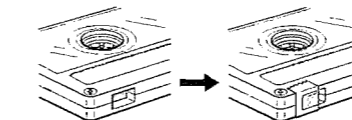
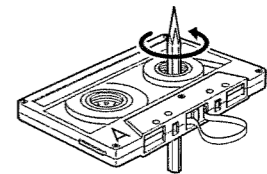
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

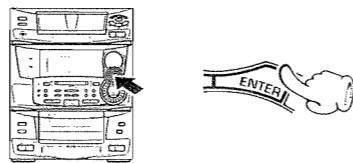
調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、ENTERキーを押しながら、差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTEがオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEをオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> → [8] → [18]
"-----"の表示が点滅し、音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。	●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。	
ヘッドホンから音がでない。	●差し込みが不完全。	●正しく差し込む。	→ [19]
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。 	<ul style="list-style-type: none"> → [8] → [66]

チューナー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	→ [70]
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●O.T.E.キーで実行指定する。 	→ [73]
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> → [8] → [30]
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	→ [31]

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 	→ [8]
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(AUX使用時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ●録音できません。 ●AUXインプットレベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●入力切換えを録音したいソースにする。 	→ [76]
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) ●はずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUXインプットレベルを調節する。 ●再度録音をする。 	→ [34]
雑音が大きい	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	
電源オン後、表示が一瞬消える	●電源をオフにして、すぐにオンにした。	●故障ではありません。	

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	
CAN'T COPY	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。	- 36
DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●一枚のディスクには256曲以上録音できません。	
TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	- 59
BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
READING	●TOC** 情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
DISC ERROR	●UTOC** の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。	- 64
CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
PROTECTED	●ミニディスクが"録音禁止"されている。	●"録音可能"にする。	- 76
PLAY ONLY	●再生専用のミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。	
UNIT ERROR	●何らかのトラブルを示します。	●電源をいったんオフにし、再びオンすると、通常の状態に戻ります。	

- *1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
- *2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約半日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。	●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。	- 76 - 75
音が出ない。	●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。	●ディスクを入れる。 ●再生(▶/II)キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。	- 76
音とびがする。	●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。	●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。	- 76

CDプレーヤー部(メッセージ表示について)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
Err** (**は数字)	●何らかのトラブルを示します。トラブルの内容によって、数字の部分が異なります。	●電源をいったんオフにし、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。	

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする機器に、CD、MDが入っていない。	●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●再生しようとする機器にCD、MDを入れる。	- 16 - 16

レンタルCD,中古CDの取り扱いについて



- 図の様なクラッピングエリアにシールが貼られている様なディスクはご使用にならないください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

カセットデッキ部

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。 	- 77
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを開けて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを開けてから何秒か待って操作キーを押す。 ●4秒以上たってから操作キーを押す。 	- 26
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"飛び越し選曲"をお読みください。 	- 28
^{プッシュ・オープン} PUSH OPENのマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●マイコンをリセットしてください。 	- 78
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。 	- 77
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープを交換する。 	
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをオンで録音したテープをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRをオンにする。 	- 77 - 27
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	- 77 - 27
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●入力切替が、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●入力切替を録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	- 77 - 26 - 39 - 38

定格

本体部 (RXD-M1MD)

[アンプ部]
 実用最大出力 50W+50W (EIAJ 6Ω)
 S/N比 (EIAJ)
 AUX 90dB

[チューナー部]
 FMチューナー部
 受信周波数範囲 76MHz~108MHz

AMチューナー部
 受信周波数範囲 531kHz~1,629kHz

[MDレコーダー部]
 読み取り方式 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
 記録方式 磁界変調オーバーライト方式
 D/Aコンバーター 1 Bit
 ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

[CDプレーヤー部]
 読み取り方式 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
 D/Aコンバーター 1 Bit
 ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

[カセットデッキ部]
 トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
 録音方式 交流バイアス (周波数: 105kHz)
 ヘッド
 録音/再生用 1
 消去用 1
 モーター 1
 早巻き時間 約100秒 (C-60)

[電源部・その他]
 電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
 定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 105W
 最大外形寸法
 幅 270mm
 高さ 330mm
 奥行 356mm
 質量 (重量) 8.0kg (正味)

スピーカー部 (LS-N951)

エンクロージャー バスレフ防磁型
 スピーカー構成
 ウーファー 160mm コーン型
 ツイーター 50mm コーン型
 スーパーツイーター 25mm ドーム型
 インピーダンス 6Ω
 最大入力 60W
 最大外形寸法
 幅 200mm
 高さ 330mm
 奥行 284mm
 質量 (重量) 4.0kg (1本)

スピーカー部 (LS-N850)

エンクロージャー バスレフ防磁型
 スピーカー構成
 ウーファー 180mm コーン型
 ツイーター 65mm コーン型
 スーパーツイーター 25mm ドーム型
 インピーダンス 6Ω
 最大入力 100W
 最大外形寸法
 幅 220mm
 高さ 330mm
 奥行 316mm
 質量 (重量) 4.1kg (1本)

スピーカー部 (LS-N650)

エンクロージャー バスレフ防磁型
 スピーカー構成
 ウーファー 160mm コーン型
 ツイーター 65mm コーン型
 スーパーツイーター 25mm ドーム型
 インピーダンス 6Ω
 最大入力 100W
 最大外形寸法
 幅 200mm
 高さ 330mm
 奥行 278mm
 質量 (重量) 3.7kg (1本)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
 ●極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。